嘉麻市教育委員会
点検・評価報告書

（平成２８年度事業分）

保育園での“プロジェクトK事業”

平成２９年８月

嘉麻市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条及び嘉麻市教育基本条例第７条の規定に基づき、平成２８年度の教育委員会の点検及び評価を行いましたことを報告します。

嘉麻市教育委員会委員名簿　　平成２９年８月現在

職　　名	氏　　名	任　　期
委　　員　　長	豊福　眸子	平成２６年　７月　４日～平成３０年　７月　３日
委員長職務代理者	佐竹　正利	平成２９年　７月　４日～平成３３年　７月　３日
委　　員	辻田　喜美	平成２８年　８月２９日～平成３２年　８月２８日
委　　員	犬丸　隆行	平成２７年　７月　４日～平成３１年　７月　３日
教　　育　　長	木本　寛昭	平成２６年１１月　９日～平成３０年１１月　８日

目　次

１．教育委員会点検・評価の概要について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
⑴　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
⑵　点検・評価の導入の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
⑶　点検・評価する対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
⑷　点検・評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
⑸　結果の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
⑹　嘉麻市教育行政の基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
⑺　嘉麻市教育振興基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
「第３次嘉麻市教育アクションプラン（平成２７年度～平成２９年度）」

２．教育委員会の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
⑴　平成２８年度教育委員会実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
⑵　平成２８年度教育委員会の会議における主な議案・・・・・・・・・・・・・ 3
⑶　平成２８年度教育委員会の会議における協議・・・・・・・・・・・・・・・ 4
⑷　平成２８年度教育委員会の会議における報告・・・・・・・・・・・・・・・ 4

３．各種学校調査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

４．事業別評価結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
■重要課題１　少人数指導等による学力向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実・・・・・・・・・・・・ 18
■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進・ 37
■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進・・・・・・・・・・・・ 53
■重要課題５　体力及び運動能力向上の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
■重要課題６　人権尊重精神を育成する教育の推進・・・・・・・・・・・・・ 72
■重要課題７　市民文化の創造・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76

５．全体評価結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

《資料》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
・嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
・平成２９年度嘉麻市教育委員会点検評価委員名簿・・・・・・・・・・・・・ 90

１．教育委員会点検・評価の概要について

⑴　はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正及び嘉麻市教育基本条例の制定により、平成２０年４月から、嘉麻市教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。

⑵　点検・評価の導入の目的

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって、具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要があり、教育委員会が地域住民に対する説明責任を果たし、その活動を充実させることが目的です。

⑶　点検・評価する対象

第３次嘉麻市教育アクションプラン（平成２７年度～平成２９年度嘉麻市教育振興基本計画）の事業を対象とします。

⑷　点検・評価の方法

事業ごとに目標達成度の観点から自己評価を行い、点検・評価の客観性を確保するために第三者評価を行いました。

第三者評価については、教育委員や現場教員・事務局職員等ではない人で、教育に関して公正な意見を述べることが期待できる人を想定し、議会、ＰＴＡ連合会、社会教育委員の会議、公民館運営審議会、図書館協議会、織田廣喜美術館運営協議会、スポーツ推進委員、文化財保護審議会より推薦をいただいた方に依頼し、評価していただきました。

《点検・評価の流れ》

① 教育委員会事務局（担当課）においてその所管する事務事業等を自己評価
② 自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員を設置し、自己評価に対しての評価
③ 教育委員会は評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な点検評価
④ 議会へ報告
⑤ 議会報告後、速やかにホームページ等で一般公表

(5)　結果の取扱い

この点検・評価においては、事業ごとに４段階【Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要】で評価し、評価の高い事業については引き続き実施し、評価の低い事業については課題や問題の解決を行うと同時に、事業の見直しについて検討していく予定です。

(6)　嘉麻市教育行政の基本理念

嘉麻市教育委員会では、嘉麻市教育基本条例第２条の基本理念に基づき、本市の教育行政を実施していきます。

嘉麻市教育基本条例（抜粋）
（基本理念）
第2条　教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び地域社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な市民の育成を期して行われなければならない。
２　市民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。
３　家庭、地域住民及び市は、前2項に定める基本理念の実現に努めるものとする。

(7)　嘉麻市教育振興基本計画

「第３次嘉麻市教育アクションプラン（平成２７年度～平成２９年度）」

嘉麻市教育委員会では、教育行政の基本理念に基づき、本市における教育振興のための施策に関し基本的な事項を定めた「第３次嘉麻市教育アクションプラン」を策定し、学校教育、社会教育、文化・芸術の各分野における７つの教育施策を柱として、その実現に向けた施策を推進しました。

１．少人数指導（１学級を３０人以下の児童又は生徒で編成する等の指導形態をいう。）等による学力向上
２．個性又は能力を育成する学校教育の充実
３．豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
４．生涯学習の実現を目指す社会教育の推進
５．体力及び運動能力向上の推進
６．人権尊重精神を育成する教育の推進
７．市民文化の創造

この７つの施策に基づく事業を対象に、点検・評価を実施しました。

＊　第３次嘉麻市教育アクションプラン（平成２７年度～平成２９年度　嘉麻市教育振興基本計画）は、以下のホームページにてご覧いただけます。

「嘉麻市教育アクションプラン」

http://www.city.kama.lg.jp・・・嘉麻を知る→嘉麻市教育委員会→教育総務係

２．教育委員会の取組み

(1)　平成２８年度教育委員会実施状況

教育委員会は教育長を含む５名の委員で構成され、会議の実施については、原則、定例会が毎月１回、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適時適切に慎重に審議しています。

また、嘉麻市教育委員会定例学校訪問実施要項に基づき、定例学校訪問を実施しています。小中学校を訪問することで、学校教育現場の状況を確認することができ、教育委員の立場から要望など意見を述べました。

◆平成２８年度教育委員会開催実績

・定例会　１２回

・臨時会　　３回　　計　１５回

◆平成２８年度嘉麻市教育委員会学校訪問の実施状況

・定例学校訪問（３校）

嘉麻市教育委員会が各学校における学校経営の諸課題を把握するとともに、改善に向けた方向性について、協議及び所要の指導・支援を行うことにより、学校力を向上させる取組みです。

実施日：平成２８年１０月１８日（火）　学校名：熊ヶ畑小学校
平成２８年１０月２５日（火）　学校名：嘉穂小学校
平成２８年１０月２７日（木）　学校名：稲築東中学校

(2)　平成２８年度教育委員会の会議における主な議案

番号	議　　案	開催日
1	嘉麻市スポーツ推進委員の委嘱について	4/1
2	嘉麻市社会体育施設の用途廃止について	4/1
3	嘉麻市学校評議員の委嘱について	5/10
4	嘉麻市学校関係者評価委員の委嘱について	5/10
5	嘉麻市教育委員会委員長の選任について	6/7
6	嘉麻市教育委員会委員長職務代理者の選任について	6/7
7	嘉麻市学校評議員（熊ヶ畑小学校）の委嘱について	7/5
8	嘉麻市学校関係者評価委員（熊ヶ畑小学校）の委嘱について	7/5
9	嘉麻市スポーツ推進審議会委員の公募について	7/5
10	嘉麻市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について	7/5
11	嘉麻市教育委員会点検・評価報告（平成２７年度事業分）について	8/23
12	嘉麻市学校給食費等に関する基本方針について	11/2

13	嘉麻市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則について	2/7
14	嘉麻市学校給食管理運営に関する規則の一部を改正する規則について	3/24

(3)　平成２８年度教育委員会の会議における協議

番号	協　　議	開催日
1	「日本の書道文化」をユネスコ無形文化遺産に登録するための共同団体署名について	5/10

(4)　平成２８年度教育委員会の会議における報告

番号	報　　告	開催日
1	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	4/1
2	嘉麻市スポーツ推進審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	5/10
3	嘉麻市奨学資金貸付審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	5/10
4	嘉麻市奨学資金貸付審議会の諮問及び答申に関する臨時代理について	5/10
5	嘉麻市適応指導教室設置規程の一部を改正する告示について	5/10
6	嘉麻市子ども読書活動推進計画策定委員会設置規程の一部を改正する訓令について	5/10
7	嘉麻市情報教育推進協議会設置要綱について	5/10
8	平成２７年度嘉麻市立中学校卒業生の進路報告について	5/10
9	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	5/10
10	嘉麻市社会教育委員の委嘱に関する臨時代理について	6/7
11	嘉麻市文化財保護審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	6/7
12	嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会委員の委嘱に関する臨時代理について	6/7
13	嘉麻市図書館協議会委員の委嘱に関する臨時代理について	6/7
14	嘉麻市通級指導教室実施要綱の一部を改正する要綱について	6/7
15	嘉麻市学校跡地利活用会議設置要綱について	6/7
16	嘉麻市土曜未来塾支援連絡会議設置要綱の一部を改正する要綱について	6/7
17	平成２８年度嘉麻市一般会計補正予算（第１号）について	6/7
18	平成２８年６月議会上程議案等について	6/7
19	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	6/7
20	嘉麻市学校給食運営審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	7/5
21	嘉麻市社会体育施設条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則について	7/5

22	嘉麻市立嘉穂小学校通学安心安全協議会設置要綱を廃止する要綱について	7/5
23	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	7/5
24	嘉麻市社会教育委員の委嘱に関する臨時代理について	8/3
25	嘉麻市学校給食運営審議会の諮問に関する臨時代理について	8/3
26	嘉麻市プロジェクトＫ事業推進補助金交付規程の一部を改正する告示について	8/3
27	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	8/3
28	嘉麻市立小中学校全国学力・学習状況調査等の結果公表に関する規程の制定について	8/23
29	図書館資料の弁償に関する要綱について	9/6
30	嘉麻市体育協会補助金交付要綱について	9/6
31	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	9/6
32	嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会委員の委嘱に関する臨時代理について	10/4
33	嘉麻市スポーツ推進審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	10/4
34	嘉麻市社会体育施設条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則について	10/4
35	嘉麻市立小学校小規模特認校設置規程について	10/4
36	嘉麻市立小学校小規模特認校設置要綱を廃止する要綱について	10/4
37	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	10/4
38	嘉麻市学校給食運営審議会の答申について	11/2
39	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	11/2
40	嘉麻市公民館運営審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	12/7
41	嘉麻市公民館運営審議会の諮問に関する臨時代理について	12/7
42	嘉麻市特別教員規程の一部を改正する訓令について	12/7
43	平成２８年１２月議会上程議案について	12/7
44	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	12/7
45	第２次嘉麻市子ども読書活動推進計画策定に関するパブリックコメントの実施について	1/6
46	平成２８年度全国学力・学習状況調査結果の公表について	1/6
47	平成２８年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について	1/6
48	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	1/6
49	嘉麻市立泉河内小学校跡地利活用について	2/7
50	嘉麻市学校適正化基本方針策定審議会条例（案）について	2/7

51	いじめ防止等に関する条例について	2/7
52	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	2/7
53	平成２９年３月議会上程議案について	3/7
54	第２次嘉麻市子ども読書活動推進計画について	3/7
55	嘉麻市学校給食事業集金事務委託規程を廃止する告示について	3/7
56	嘉麻市学校給食管理運営に関する規則の一部改正について	3/7
57	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	3/7
58	嘉麻市就学援助費交付認定規程の一部を改正する告示について	3/24
59	平成２９年度教職員の人事（内示）について	3/24

３．各種学校調査の結果

まず、はじめに嘉麻市内各小中学校における、少人数指導特別教員、特別支援学級介助員・支援員等の配置状況をまとめました。平成２７年度と比べ、少人数指導特別教員の配置については１名増員、特別支援学級介助員、支援員は３名増員、特別支援教育補助教員は１名増員となりました。少人数指導特別教員の増員は、児童生徒の増加によるものです。

今後も学習支援の環境の充実と、個に応じた適切な支援を図っていきます。

〇小中学校（全１３校）における、特別支援学級介助員等の配置数

No.	点検･評価項目	内　　容	H27	H28
1	少人数指導特別教員の配置	少人数授業の指導を行うために市費で雇用	17 名	18 名
2	特別支援学級介助員・特別支援学級支援員の配置	肢体不自由な児童生徒の介助や特別支援学級に在籍する児童生徒の支援を行うために市費で雇用	19 名	22 名
3	特別支援教育補助教員の配置	普通学級に在籍している特別支援の必要な児童生徒の指導等を行うために市費で雇用	16 名	17 名

次に示すのは、各小中学校で行われた、教育課程実施状況及び教育課程編成状況調査結果（No.1～No.4）全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の結果（NO.5～NO.9）を集計し、学校の取組み、児童生徒の学習状況等について、平成２７年度から平成２８年度を併記して比較したものです。

各小中学校の教育課程実施状況等の結果（No.1～No.4）からは、学習の場の設定と指導方法の工夫が積極的に図られていることが伺えます。具体的には、「基礎基本の定着を図る学習」や、学習した内容の未消化部分をなくすための「補充学習」が全て

の学校において実施されています。また、「発展学習」にも 1 校を除く全ての学校が取組んでおり、身につけた基礎的な知識や技能を活用して思考力・判断力・表現力を育てる学習が実施できているものととらえます。さらに、「きめ細かな指導の実施」については、全ての学校で個の課題や習熟度に応じた指導方法が工夫されていることが読み取れます。

次に、全国学力・学習状況調査における児童と質問紙の結果（NO.5～NO.9）では、「食習慣の安定」について、小学校では昨年度同様、県平均を超えているものの、若干の低下がみられます。中学校では昨年度より上昇していますが、自分の食生活を見つめ、改善しようとする食に関する指導や保護者啓発の継続が必要です。また、「自己肯定感」については、小学校で低下が見られるため、自尊感情を高める取組みが必要です。

「家庭での学習習慣」は中学校で改善が見られましたが、学習時間や学習内容について、具体的な指標のもと、取組みを各学校で細かく検証していくことが必要です。そして、近年の児童生徒を取り巻く状況が大きく変化している中、携帯電話･スマートフォンの所持率及び使用時間が急増するとともに、活字離れの傾向も強く、平日に読書を全くしない児童生徒の割合も増えてきています。このことについては、新たな教育指導の充実を図っていくことが急務です。

以上のような調査結果から、学習支援環境充実のための人的配置の継続及び効果的な活用と、児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導を今後も強化していくことが肝要であると考えます。

〇小学校　８校　＊学校・児童質問紙から　　（　）は平成２８年度の国・県の平均値

No.	点検･評価項目	内　　容	H27	H28
1	基礎基本の定着	基礎的、基本的な知識や技能の徹底を図る時間を設定している学校	８校	８校
2	補充学習の指導	教科の学習時間に補充学習を行っている学校	８校	８校
3	発展学習の指導	教科の学習時間に発展学習を行っている学校	８校	８校
4	きめ細かな指導の実施	少人数指導（ティームティーチングを含む）を行った学校	８校	８校
	内訳：分割授業	課題別・習熟度別に分割授業を行った学校	７校	８校
	内訳：非分割授業	学習集団を分けずに、ティームティーチングによる授業を行った学校	７校	７校
5	食習慣の安定	朝食を毎日食べている児童 （国　95.5%、県　93.7%）	95.4%	94.6%
6	自己肯定感	自分にはよい所があると思う児童 （国　76.3%、県　74.9%）	74.2%	67.7%
7	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている児童 （国　97.0%、県　96.5%）	96.7%	94.9%
8	携帯電話等の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている児童 （国　61.1%、県　64.6%）	62.9%	65.5%
9	読書の習慣	家や図書館で全く読書をしない児童 （国　20.6%、県　21.9%）	20.9%	23.3%

〇中学校　５校　　（　　）は平成２８年度の国・県の平均値

No.	点検･評価項目	内　　容	H27	H28
1	基礎基本の定着	基礎的、基本的な知識や技能の徹底を図る時間を設定している学校	５校	５校
2	補充学習の指導	教科の学習時間に補充学習を行っている学校	５校	５校
3	発展学習の指導	教科の学習時間に発展学習を行っている学校	４校	４校
4	きめ細かな指導の実施	少人数指導（ティームティーチングを含む）を行った学校	５校	５校
	内訳：分割授業	課題別・習熟度別に分割授業を行った学校	３校	５校
	内訳：非分割授業	学習集団を分けずに、ティームティーチングによる授業を行った学校	５校	５校
5	食習慣の安定	朝食を毎日食べている生徒 （国　93.3%、県　91.8%）	88.7%	89.7%
6	自己肯定感	自分にはよい所があると思う生徒 （国　69.3%、県　68.2%）	64.0%	66.6%
7	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている生徒 （国　90.1%、県　90.0%）	83.5%	86.3%
8	携帯電話等の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている生徒 （国　81.2%、県　82.8%）	81.7%	84.7%
9	読書の習慣	家や図書館で全く読書をしない生徒 （国　37.2%、県　41.4%）	38.1%	42.5%

４．事業別評価結果

■重要課題１　少人数指導等による学力向上

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
(1) 確かな学力向上のための取組みの推進	1	少人数指導推進事業		○		
	2	学校提案型学力向上事業	○			
	3	研究指定校補助事業		○		
	4	学力検証事業	○			
	5	嘉麻市学力向上強化プロジェクト事業	○			

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
(1) 子どものニーズに応じる教育の充実	6	特別支援教育総合推進事業	○			
	7	補助教員配置事業	○			
(2) 社会の変化に対応する教育の充実	8	英語コミュニケーション能力の育成事業		○		
	9	情報教育推進事業	○			
	10	情報教育施設整備事業	○			
	11	持続可能な社会を実現する環境教育の推進	○			
(3) 信頼される教員の確保と研修の充実	12	嘉麻市教育センター研修推進事業	○			
	13	教職員人事配置事業		○		
(4) 安心して学べる学校づくりの推進	14	学校防犯体制整備事業	○			
	15	通学対策事業	○			
(5) 学校施設整備の推進	16	学校施設維持管理業務事業	○			
	17	大隈城山校維持管理事業	○			
	18	大規模改造工事事業	○			
(6) 地域に開かれた学校づくりの推進	19	学校関係者評価事業		○		
	20	学校開放事務事業	○			
(7) 小中連携教育への取組み	21	小中連携教育等基本方針作成事業			○	
	22	小中連携･一貫教育研究事業		○		
(8) 教育の機会均等の促進	23	就学援助事業	○			
	24	奨学金事業		○		

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
⑴　道徳性と自立心を養う心の教育の充実	25	道徳教育推進事業		○		
	26	キャリア教育推進事業	○			
	27	ボランティア活動推進事業	○			
⑵　健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実	28	学校保健事業	○			
	29	学校給食運営事業		○		
	30	学校給食費算定及び収納事業		○		
⑶　家庭・地域・学校における読書活動推進	31	読書活動推進事業		○		
⑷　いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実	32	適応指導教室（れすとぴあ）推進事業	○			
	33	教育相談推進事業	○			
	34	学校支援相談員配置事業	○			
⑸　家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実	35	地域教育資源活用事業		○		
	36	学社連携融合事業		○		
	37	家庭教育支援事業	○			
	38	青少年健全育成事業	○			
⑹　男女共同参画教育の推進	39	学校における男女共同参画推進事業		○		
	40	地域社会における男女共同参画推進事業	○			

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
⑴　生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備	41	社会教育関係団体等育成事業		○		
	42	社会教育関係団体活性化補助事業		○		
⑵　学習機会の提供及び学習成果の活用促進	43	社会教育施設整備事業		○		
	44	ボランティア人材バンク事業		○		
	45	生涯学習推進事業	○			
	46	青少年体験活動推進事業	○			
	47	公民館・分館等の連携強化推進事業		○		
	48	分館及び自治公民館等活動費補助事業		○		
	49	コミュニティ活動支援事業		○		
	50	公民館事業		○		

⑶　図書館の利用促進	51	図書館施設管理運営事業		○		
	52	読書活動推進事業	○			
	53	図書館ボランティア養成事業	○			

■重要課題５　体力及び運動能力向上の推進

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
⑴　スポーツによる地域の活性化	54	スポーツコミュニティ創造事業		○		
	55	スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援事業	○			
⑵　スポーツ環境の整備	56	スポーツ環境創成事業		○		
	57	社会体育施設管理運営事業	○			
⑶　生涯スポーツの推進	58	プロジェクトK事業	○			
⑷　競技スポーツの推進	59	競技スポーツ推進事業	○			

■重要課題６　人権尊重精神を育成する教育の推進

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
⑴　学校教育における人権・同和教育の推進及び支援	60	人権・同和教育推進事業		○		
⑵　社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	61	人権学習推進事業		○		
	62	解放子ども会育成事業	○			
	63	解放学級育成事業		○		

■重要課題７　市民文化の創造

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
⑴　美術に関する創造的活動の推進	64	文化芸術活動推進事業		○		
	65	美術館運営管理事業	○			
	66	企画展事業	○			
	67	美術教育普及事業	○			
⑵　文化財の保護・継承・活用	68	文化財保護事業		○		
	69	歴史民俗教育普及事業	○			
	70	歴史民俗資料展示・保管施設の管理活用事業		○		

☆点検評価表の見方☆

事業名 （予算/決算）	［番号］　事業名　（　課：　係） （予算：　千円 / 決算：　千円）
目　的	事業の目的について記載しています。
事業内容	平成２８年度に実施した事業について記載しています。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 平成２８年度の課題としてあげた事項等を記載しています。 **【課題等への取り組み】** 上記の課題について、どのような取組みをしたか記載しています。

事務局自己評価					
	【評価項目】	**A**	**B**	**C**	**D**
	事業の必要性				
	事業の効果				
	事業の効率性				
	【自己評価の根拠】 自己評価に至った理由について記載しています。 また、評価の指標は次のとおりです。 Ａ：期待どおり Ｂ：概ね期待どおり Ｃ：課題あり Ｄ：事業の見直し要				

今後の方向性	この事業の目的を達成するための方向性について記載しています。
平成 29 年度の課題	平成２９年度の課題について記載しています。

【評価委員の意見】
点検評価委員会議でいただいた委員の意見を記載しています。

教育委員会評価	今回	※
	（前回）	（※）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

※点検評価委員の意見を踏まえ、教育委員会で評価しました。

■重要課題１　少人数指導等による学力向上

（１）確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 （予算/決算）	［１］少人数指導推進事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：77,413 千円 / 決算：77,413 千円）
目　　的	少人数指導（１学級を３０人以下の児童又は生徒で編制する等の指導形態をいう。）により、より個に応じた指導を行うことによって、生徒指導の充実、学力を向上させるよう努めます。
事業内容	小学校１０名、中学校８名の少人数指導特別教員を配置し、小中学校の少人数指導を推進しています。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 福岡県や県内他市町村においても多くの講師を任用しているため、人材の確保が課題です。また、現在雇用している講師の指導・支援による人材育成が必要です。 **【課題等への取り組み】** よりよい人材を確保するため、昨年度の講師の継続雇用、校長会や教頭会への依頼による退職教員への声かけ、教員養成系の大学への依頼を行いました。また、講師の育成のため、嘉麻市教育センターにおける研修会の実施や指導主事による継続的な指導を進めています。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

少人数指導の実施により、きめ細かな指導が充実することで、基礎・基本の学力の定着が図られるとともに、問題行動も減少し、落ち着いた学校生活が送れるようになりました。平成２８年度全国学力・学習状況調査結果においては、平成２２年以降上昇傾向を示しています。標準学力検査ＮＲＴ（小学校）の結果は、平成２６年度以降標準偏差値５０を上回り、上昇しています。標準学力分析検査（中学校）の結果も年々上昇しており、標準偏差値に対して（-2.7）にまで縮まりました。不登校の児童生徒も４９人にまで減少し、全国の出現率に近づいてきました。

しかし、学校間・学年間・学級間の格差がみられることが課題です。

今後の方向性	少人数指導による、より個に応じた指導により、平成２９年度までには、小中学校ともに、各種学力調査結果や不登校児童生徒の出現率を全国平均にしていきます。
平成 29 年度の課題	学校間・学年間・学級間の格差の要因分析に努め、市費による少人数指導特別教員のさらなる授業力・指導技術向上の指導、支援を強化します。

【評価委員の意見】

・３０人以下学級は、本当にすばらしい制度だと思いますので、続けてほしいです。
・若い先生たちの意欲ややりがいが、そこで育っていけば本当に良いと思います。
・教員は報告業務が多く、多忙と聞いていますが、報告業務を分離できることならしていただきたいと思います。
・少人数指導推進のために必要となる指導員の確保については、教員免許の有無にとらわれず、一般公募等によって人材を募り、育成するといったことは難しいのでしょうか。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（Ａ）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題１　少人数指導等による学力向上

（１）確かな学力の向上のための取組みの推進

事 業 名 （予算/決算）	［２］学校提案型学力向上事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：3,085 千円 ／ 決算：2,453 千円）
目　　的	学校提案による教育課程外の事業を実施することにより、各学校・地域等の活性化を図り、学力を向上させるよう努めます。
事業内容	学校提案による学校外補習学習推進事業を小学校８校、中学校５校で実施しました。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** ３０人以下学級による少人数指導の成果が徐々に出ていますが、基礎学力が定着していない児童生徒が依然として多くいます。個に応じたきめ細かな指導が必要であり、児童生徒の学力の実態に応じた取組みを継続して行う必要があります。 **【課題等への取り組み】** 個に応じた指導を支援するため、学習の個別化を促進する教材の提示や指導方法の方向性を明確に示しました。各学校では、基礎基本の徹底反復や補習学習等の指導時間や指導内容を工夫した独自の取組みを進めました。 また、学習の支援者として、地域の方に協力いただきました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

学校提案型学力向上事業として、夏季、冬季休業中や放課後に、大学生の学習サポーターや地域の方々に学習支援者としてご協力いただき、基礎基本の繰り返しの学習や補習学習等を行いました。児童生徒の反応では、わかる・できる喜びを感じており、教職員だけでなく、地域の方からの支援をいただき、認めてもらえる機会となっていることは、児童生徒の意欲を高めることにつながっています。地域の方もこの事業をきっかけとして、教育活動にご協力いただくことも増えています。

今後の方向性	平成２８年度からは本事業を学力向上プロジェクト事業に組み込んで展開してきました。各学校が、自校の課題に向き合い、その克服を目指した独自の取組が展開されました。今後も地域の方の協力をいただきながら、全学年を対象として取組みを進めていきます。
平成 29 年度の課題	小中学校において、基礎学力が定着していない児童生徒に対するよりきめ細かな指導が必要です。地域の方の支援により、児童生徒を支える非認知的な部分も強化する考え方を提案していきます。

【評価委員の意見】

・地域と学校を繋がっているということで、すばらしい取組みだと思います。

・個々の学力格差が大きいのにもかかわらず、宿題が全員同じというのは、学力の低い児童生徒にとっては非常に苦痛であり、一層勉強嫌いの意識を持たせる悪循環になっていると思われます。個々の学力にあった家庭学習課題を与えた上で指導者に見守られながら、補習学習等で自学することが学力向上に繋がるのではないかという理想を抱いています。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題１　少人数指導等による学力向上

（１）確かな学力の向上のための取組みの推進

事 業 名 （予算/決算）	［３］研究指定校補助事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：1,400 千円 / 決算：1,400 千円）
目　　的	研究指定事業を通して、教職員の実践的指導力の向上を図るとともに、一人ひとりの資質の向上に向けた研修等への参加支援体制の整備を図ります。
事業内容	研究指定校を３ヵ年事業として、毎年中学校区単位で委嘱し、３年次に研究発表を行います。平成２８年度は、３年目の碓井小学校･碓井中学校が研究成果を広める発表会を実施しました。研究２年目が、稲築東小学校･稲築東中学校、1 年目が熊ヶ畑小学校、上山田小学校、下山田小学校、山田中学校でした。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 小・中連携を意図した中学校区での研究指定・発表会の開催の第１回目でした。発表会までの経過や発表会の内容等から、小中連携の在り方や教職員の指導力向上を検証することが課題でした。 **【課題等への取り組み】** 指導主事を派遣し、授業づくりについての指導助言、授業後の協議等を行いました。また、研究に係る情報提供を積極的に行いました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

３ヶ年次の研究発表に向けて、理論と実践を関連づけて研究をすすめることで、児童生徒の学びの在り方に変容がみられました。また、教職員の研修の日常化が図られ、児童生徒の姿で教職員の指導の在り方を見つめなおす意識が高まってきました。しかし、校区の課題を明確にし、学習づくりや生活づくりへと具現化を図るような取組みづくりは、まだ不十分です。

今後の方向性	研究発表会は、全教職員の研究に対する前向きな姿勢を持つ良い機会です。 今後は、小中連携した校区としての取組みづくりを意識して進めていく必要があります。
平成 29 年度の課題	９年間の学びの継続が小中連携して確率するよう、校区としての課題の明確化と取組みの具体化について指導・支援します。

【評価委員の意見】

・研究テーマと校区の課題が、少し繋がっていないような気がします。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（Ａ）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題１　少人数指導等による学力向上

（１）確かな学力の向上のための取組みの推進

事 業 名 （予算/決算）	［４］学力検証事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：7,815 千円 / 決算：7,403 千円）
目　　的	児童生徒の実態を把握・分析し、課題を明らかにして学校内の組織的な取組みの改善を図り、自ら学び考えるなどの確かな学力を育む教育の充実を図ります。
事業内容	各種学力検査の結果を分析し、実効性のあるプランと各校のＰＤＣＡサイクルを確立します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 各学校において、学力向上プランを機能化させるとともに、妥当な評価改善に基づく実践を継続的に実施することが必要です。 **【課題等への取り組み】** １３校すべてにおいて実施した学力調査の早期分析を実施し、短期検証改善サイクルを好循環させるための内容と方法についての研修会を繰り返し実施しました。また、ミドルリーダーが推進力を発揮できるよう運営面での支援を継続しました。各学校における取組みを共有し、肯定的に評価することを継続しました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】

小学校における標準学力検査ＮＲＴの結果は、３年連続して標準偏差値５０を超え、上昇しています。中学校の標準学力分析検査の結果は、年々上昇し、標準偏差値５０に近づいています。各学校では、学力の検証が組織的な取組みとして定着を見せ、より実効性のある取組への工夫がなされています。また、本年度から小学校で１月にＣＲＴを実施したことで、学年末の習熟に向けた取組みが徹底しました。

今後の方向性	嘉麻市としての分析及び指導の方向性を明確に提示し、各学校、的を射た実践の展開に導きます。今後も指導と評価の一体化を図り、課題克服の取組みを推進します。
平成 29 年度の課題	長期的な目標達成に向けた短期的な指標を各学年・各教科で柔軟に設定し、短期取組みの成果を教師も児童生徒も実感できる活力ある実践づくりを支援します。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題１　少人数指導等による学力向上

（１）確かな学力の向上のための取組みの推進

事 業 名 （予算/決算）	［５］嘉麻市学力向上強化プロジェクト事業 （学校教育課：教務係・指導係） （予算：19,954 千円 / 決算：19,934 千円）
目　　的	学校への指導及び支援体制をより強化し、学校の組織体制を確立するとともに、嘉麻市土曜未来塾において、基礎基本の学力の定着、家庭学習の習慣化を図り、学力の向上に努めます。
事業内容	学力向上推進員（教職員ＯＢ）５名が学校を訪問し、学校の運営支援と若年講師への授業改善指導を行いました。また、嘉麻市土曜未来塾を市内７箇所において、教員ＯＢや学生４９人を学習サポーターとして実施しました。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 各学校で若年層の増加に伴い、若年講師等への継続した授業改善指導が必要です。また、嘉麻市土曜未来塾については、学習サポーターの確保と生活困窮家庭の児童生徒の参加を促す必要があります。 **【課題等への取り組み】** ５名の学力向上推進員が年間を通して、各学校の若年層への指導を行いました。学習サポーターの登録については、近隣大学を訪問し、学生ボランティアに登録依頼を行いました。また、嘉麻市土曜未来塾を知ってもらうためのＤＶＤを作成し、各学校に配布しました。併せて、保護課等と連携し、生活困窮家庭の児童生徒の参加を促しました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

５名の学力向上推進員が市内５中学校区毎に担当し、常勤講師及び若年教師の教科、学級づくり、心構え、保護者対応等の指導を各学校の管理職と協働し行いました。嘉麻市土曜未来塾については、年間４０回実施できました。勉強がわかるようになりたいという思いで通塾した児童生徒の全てが、わかるようになったと答えるなど、成果は一人ひとりに確実に実感されています。

今後の方向性	学力向上推進員については、引き続き学校への指導及び支援体制を継続します。嘉麻市土曜未来塾においては、先進地視察から得たノウハウを生かした具体策を実践に移していきます。
平成 29 年度の課題	嘉麻市土曜未来塾については、関係各課と連携し、生活困窮家庭の児童生徒を含め更なる参加を促します。また、個に応じた支援が展開できるよう、サポーターへの研修や指導事項の整理が必要です。家庭学習の習慣化の状況について、データで検証する必要があります。

【評価委員の意見】

・嘉麻市土曜未来塾について、学力向上はあくまで学校の責任だと思いますので、学校で開催するべきだと思います。それによって、教職員の意識も高まると思います。
・参加児童生徒を増やすための創意工夫を徹底的に行っていただくことを希望します。
・学習サポーターの資質、認識を確認するためにも、各会場への視察やサポーター研修会等の実施を提案します。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実

（１）子どものニーズに応じる教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［６］特別支援教育総合推進事業　（学校教育課：教務係・指導係） ※健康課：発達支援連携協議会事業費にて小学校分を予算化 （予算：９６０千円 / 決算：６０５千円）
目　　的	保育所（園）・幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における特別支援教育を総合的に推進することです。
事業内容	巡回相談や個別の教育相談の実施等、発達障がいを含む障がいのある幼児児童生徒を支援しました。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 早期からの支援体制構築のためには、発達支援連携協議会の実施、特別支援教育支援教員とスクールカウンセラーによる巡回相談の実施、特別支援教育コーディネーター連絡会の開催、相談支援ファイルの活用、関係機関の連携、特別支援教育の啓発等が必要であり、今後も継続して、支援体制整備に努めます。 **【課題等への取り組み】** 特別支援教育支援教員とスクールカウンセラーによる巡回相談を実施し、就学前から就学における、支援が必要な児童の早期発見と早期対応を行いました。 また、「かまっこすくすくファイル」の活用を促進し、次のステージへの引き継ぎを確実に行うための引き継ぎシートの活用を工夫しました。 コーディネーター連絡会では、発達支援連携協議会の内容を周知して、共通理解を図りました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

特別支援教育支援教員とスクールカウンセラーによる巡回相談の実施、関係機関が情報を共有できる相談支援ファイルの活用、リーフレットの全戸配布などの特別支援教育の啓発を行うことにより、早期からの支援体制が構築されてきました。

小学校では、巡回相談の機会に専門的な指導助言を受けることで、幼児児童生徒の実態に応じた適切な支援や指導が行われるようになってきています。

今後の方向性	平成２８年４月１日施行の「障害者差別解消法」の関連性も重要視しながら展開していきます。また、教育センターの相談室が、就学に係る教育相談窓口として機能するようにしていきます。
平成 29 年度の課題	早期からの支援体制構築のために、嘉麻市として様々な取組みを進めていますが、学校と共通理解できていない部分があります。支援の接続を円滑にし、適切な支援が途切れなくできていくように、共通理解を図る場の設定が必要です。

【評価委員の意見】

・医師の診断の有無にかかわらず、目の前にいる子どもたちの状態に反映する教師側の姿勢や考え方で、この事業を推進してほしいと思います。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実

（１）子どものニーズに応じる教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［７］補助教員配置事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：80,441 千円 / 決算：79,236 千円）
目　　的	特別支援教育充実のための補助教員、介助員、支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた教育条件の整備を図ります。
事業内容	特別支援教育補助教員、特別支援学級介助員、特別支援学級支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育を行いました。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 一人ひとりの実態に応じた適切な指導や支援を充実させることや、各校における支援の状況把握に努めます。 **【課題等への取り組み】** 個に応じた支援の充実をめざし、補助教員、介助員、支援員を対象とした研修会を嘉麻市教育センターが主催して実施しました。また、県が実施する研修会にも積極的に参加するよう指導しました。支援を必要とする児童生徒数の把握や支援の実際について、学校訪問等を通して把握し必要に応じて指導助言を与えました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

特別支援学級に該当しない発達障がいのある児童生徒、通常学級に在籍する支援を要する児童生徒、病気等により日常生活全般及び一部において見守りが必要な児童の支援のために、補助教員１７名、特別支援学級には、介助員２名、支援員２０名を配置し、子ども一人ひとりのニーズに応じた教育支援を実施しました。

今後の方向性	補助教員等の配置により、個に応じた対応ができています。このことは、特別な支援を必要としない児童生徒との良好な人間関係づくりにも役立っています。インクルーシブ教育システムの構築に向け、適切な支援ができるように努めていきます。
平成 29 年度の課題	合理的配慮の提供の必要性が、今後ますます増えていくことが予想されます。配置した人員の効果的な活用について、工夫していく必要があります。また、個別の指導計画に基づき通常学級と支援学級との連携した支援ができるよう指導助言します。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実

（２）社会の変化に対応する教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［８］英語コミュニケーション能力の育成事業 （学校教育課：教務係・指導係） （予算：23,336 千円 / 決算：23,324 千円）
目　　的	言語や文化についての体験的理解を深め、英語によるコミュニケーション能力を養い国際感覚を身に付けさせることです。
事業内容	国際的な共通語として英語によるコミュニケーション能力の育成や文化についての体験的理解を深めることを目的として、ＡＬＴ（外国語指導助手）の活用による外国語活動の充実を図ります。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 各中学校区に配置しているＡＬＴを活用することにより、教職員の指導力向上を図り、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図る必要があります。また、中学校の英語新テストや小学校の外国語活動の教科化を踏まえた研修会の実施が必要です。 **【課題等への取り組み】** 各中学校区に配置しているＡＬＴを活用し、教職員の指導力向上を図りました。各月末に、契約先と情報交換を重ね、指導の状況や課題について協議したりすることで、英語力向上に係る指導方針を共有しました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

ＡＬＴを各中学校区に１名配置し、小･中学校における外国語教育の充実を図ることができました。また、外国語教育を更に充実させるため、ＡＬＴの契約方法を引き続き労働者派遣とすることで、ＴＴ（チームティーチング）による授業が可能となりました。

今後の方向性	英語の教科化に向けて、教職員の指導力向上を図り、ＡＬＴの効果的な活用の在り方について研修を重ねます。
平成 29 年度の課題	今後も教職員が主となる授業展開とＡＬＴの専門性を活用した授業を行うことにより、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図るとともに、教職員の指導力向上に取組む必要があります。教科化に向けた計画を進めます。

【評価委員の意見】

・ＡＬＴの活用により、教職員の指導力向上を図るばかりでなく、「文部科学省英語教育関連の情報」、「市販されているこども英語教材」、「ネットで見れるレッスンプランの立て方」など大いに活用し、教職員単独でも小学校英語教科化に対応できる技能を身に付けるべく、協議、研修を重ねていってもらいたいと思います。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（２）社会の変化に対応する教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［９］情報教育推進事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：4,366 千円 / 決算：3,800 千円）
目　　的	児童生徒がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を、積極的かつ適切に活用できるようにするため、情報教育の充実を図ります。
事業内容	嘉麻市教育センターに情報教育推進ＩＣＴ支援員２名を配置し、児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力の育成、情報モラル教育を行いました。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** コンピューター等の情報機器を使うことが目的とならずに、問題解決に向けた情報の収集や選択、発信を行うような授業改善が必要です。情報モラルを高める学習の構築も必要です。 **【課題等への取り組み】** 情報教育推進ＩＣＴ支援員２名を配置し、ＩＣＴを活用した授業改善、校務の電算化を推進しました。担任と協働して授業を実施する中で、情報モラルに関する内容を指導していきました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
小学校では、文書作成補助や基本操作練習補助、中学校では、英語プレゼンテーション作り補助等の授業支援を進めることができ、児童生徒が必要な情報の取り出し活用したり、編集したり、発信したりする学習ができました。
また、授業の中で、情報モラルについてもその都度指導することができました。

今後の方向性	各学校における情報機器を活用した授業改善や、教職員の情報活用能力の向上が図られてきました。今後さらに、ＬＩＮＥなどＳＮＳ（ソーシャルネットワークサービス）について、適切な利用の在り方の指導も併せて進めるよう促していきます。
平成 29 年度の課題	教職員のスキルアップや情報モラルに関する認識を深めるための研修が必要です。また、段階的にリテラシーを高めていくことのできる指導過程の見直しが必要です。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（２）社会の変化に対応する教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［１０］情報教育施設整備事業　（学校教育課：管理係） （予算：52,443 千円 / 決算：52,441 千円）
目　　的	コンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的かつ適切に活用できるように、情報教育を行うための情報機器の整備・維持管理を図ります。
事業内容	市内小・中・高等学校（１４校）のＰＣ教室、校務用ＰＣのリース及びＰＣ教室、校務用ＰＣ、教育用ＰＣの保守を行い、情報教育の充実を図ります。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 稲築地区以外のファイルサーバーのデータセンター移行を行います。 各学校で管理しているファイルサーバーをデータセンターへ集約することで安全性の向上及び経費の削減を図ります。 **【課題等への取り組み】** 今年度、光ファイバーが整備された稲築地区以外の１０校において、学校で管理していたファイルサーバーをデータセンターの一括管理へ移行しました。 また、データの一括管理に伴い、全学校間における情報の共有が可能となりました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
ファイルサーバーのデータセンターへの一括管理に伴い、機器の安全性が向上し、また学校間における情報の共有が可能となりました。

今後の方向性	小・中学校ＰＣ教室及び教育用ＰＣの老朽化が進んでいるため、今後リプレイス等を行う必要があります。
平成 29 年度の課題	平成２４年度導入の大隈城山校ＰＣ教室のリプレイスを行います。

【評価委員の意見】
・これからも充実した設備をお願いします。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（２）社会の変化に対応する教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［１１］持続可能な社会を実現する環境教育の推進 （学校教育課：教務係・指導係） （予算：個別予算なし ／ 決算：－）
目　　的	身近な環境や環境問題に興味、関心を持ち、人間活動と環境の関わりについて総合的な理解と認識を育成します。また、環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる技術や思考力、判断力を身に付け、よりよい環境の創造活動に主体的に参加し、環境に対し責任ある行動を取る能力を育成します。
事業内容	郷土を愛する心を育てるため、小中学校で体験活動を重視した地元の良さに気づき、その環境に触れる教育を推進します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 各学校のカリキュラムを見直し、嘉麻市のよさを認識できる学習の構築が必要です。また、環境課や生涯学習課と協働し、改善を促進するための情報発信が必要です。 **【課題等への取り組み】** 「郷土を愛する人材育成」の構想について、学校に示しました。それに基づき、各学校の教育カリキュラムの見直しについて研修会を実施しました。また、環境課や生涯学習課と協働し、改善を促進するための情報発信に努めました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
「郷土を愛する人材育成」の構想について、主幹教諭研修会において説明しました。カリキュラム改善のスケジュールと見直しの４つの視点を提示し、1 年間を通して改善を推進しました。年度末には、「ひと・もの・ことを活用した学習モデル」を各学校が作成し、１３校から２６モデルを蓄積できました。
環境課と連携し、市内小学生のポスターを看板にして設置する等の取組みを実施しました。

今後の方向性	嘉麻市の自然環境に触れ、郷土に愛着を持ち、嘉麻市に定住する、または、一旦は嘉麻市を離れても将来戻ってくる人材を育成します。
平成 29 年度の課題	「郷土を愛する人材育成」の全体構想の共通理解を進めます。また、昨年度蓄積したモデルを実践化するとともに、新たな学習モデルを作成します。

【評価委員の意見】
・郷土の自然環境を大事にするという観点で、子どもたちが自分の郷土にしっかり目を向けていくという方向性が出ていないと思います。
・この取組みは、「学ぶ」ということの原点にも値すると思われますので、その成果を「中学生フェスタ」のような形で、公の場で発表するということができればと思います。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（B）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（３）信頼される教員の確保と研修の充実

事 業 名 （予算/決算）	［１２］嘉麻市教育センター研修推進事業 （学校教育課：教務係・指導係） （予算：１５０千円 / 決算：１４９千円）
目　　的	嘉麻市教育センターを中心に、市の課題に応じた教職員及び教育研究団体等の教育研究を奨励するとともに、若年層の指導技術向上、教職員の資質向上に努めます。
事業内容	教職員研修、講師等対象研修、専門研修の実施、校内研修等における指導助言を行います。また、教職員の資質向上を目的とした教育論文の応募を推奨します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 若年講師の指導力量を高めることが急務です。また、それぞれの研修レベルに応じた研修を進めます。 **【課題等への取り組み】** 学力向上推進員が若年講師の研修会の指導者として研修を実施しました。嘉麻市教育センター指導主事を中心に、教職員研修、講師等対象研修、専門研修を実施しました。さらに、教育論文作成に積極的に取り組ませることで、教職員の指導力向上に努めました。

事務局自己評価				
【評価項目】	**A**	**B**	**C**	**D**
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
嘉麻市教育センターに指導主事を配置し、教職員研修の充実に努めました。また、平成２８年度は、学校訪問件数６９回の指導主事派遣により、計画的・継続的な授業改善に取組むことができています。しかし、短期的に成果を期待することは難しく、今後も継続した指導・支援が必要です。
平成２８年度の教育論文は合計２１本の応募があり、うち優秀賞１本、優良賞５本、佳作１２本、奨励賞９本が表彰されました。年々、内容も充実してきています。

今後の方向性	少人数指導特別教員等の市費負担講師の増加、定数欠等の県費負担講師も増加しており、若年講師への指導・支援は欠かせません。また、研修や直接指導等を通じて、若年教師の実践的指導力向上を図ります。
平成 29 年度の課題	今年度も若年講師に対する研修を充実させます。また、授業改善に向けた校内研修が活発化するよう指導助言を行います。道徳と英語の教科化に向けて、理論と実践をつなぐ研修内容を工夫します。さらに、中学校教科研究会を充実させ、中学校における授業力向上に努めます。

【評価委員の意見】
・道徳の教科化は反対です。道徳は心の問題であり、点数は付けられないと思います。
・道徳の教科化はやむを得ないと思います。心の教育は重要な教育であり、必要です。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（３）信頼される教員の確保と研修の充実

事 業 名 （予算/決算）	［１３］教職員人事配置事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：個別予算なし ／ 決算：ー）
目　　的	学校・地域の実態や課題に即した人事配置を実施し、各学校の教育活動の活性化を推進します。
事業内容	学校・地域の実態や課題を踏まえ、学校間格差をなくす人事配置を実施しました。また小中連携の観点から、小中学校の人事交流も行いました。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 学校の活性化や特色ある学校づくりに対応できる長期的な展望による人事配置が必要です。 **【課題等への取り組み】** 年齢構成や指導力量に配慮したり、定数欠や教科欠にならないように、定期的に学校の実態を把握したりしながら、きめ細かな人事配置を行いました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
年齢構成や指導力量に配慮した人事配置を実施しました。また、定数欠や教科欠にならないよう、学校の実態を把握しながら、きめ細かな人事配置を行いました。しかしながら、初任者や若年層教員の指導力に格差があり、学校の実態に即した配置が十分とは言えない状況がありました。

今後の方向性	各学校の実態に即し、年齢構成や指導力量に配慮した人事配置を実施していきます。さらに、大量退職、大量採用に係る状況を考えながら、初任者や若年層教員の人事配置を実施していかなければなりません。
平成 29 年度の課題	各学校の実態・課題を把握し、学校格差をなくす適切な人事配置を第一に、人事ヒアリングを定期的に行いながらきめ細かな人事配置に努めます。また、同一校での長期勤務の教職員の計画的な人事配置も行います。人材の育成も課題となっており、長期的な展望による人事の適正な配置を目指します。

【評価委員の意見】
・児童生徒の授業に支障がないように、教職員等の病気休暇に伴う代替教職員の迅速な対応をお願いします。
・教職員の病気等による長期休暇は、一般論として常に起こりうる問題であり、教育委員会として対応策について基本的なものをもっておかなければいけないと思います。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（４）安心して学べる学校づくりの推進

事 業 名 （予算/決算）	［１４］学校防犯体制整備事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：9,736 千円 / 決算：9,550 千円）
目　　的	児童生徒の安全管理のため、学校安全に関する取組みの充実を図ります。
事業内容	学校支援専門員（警察ＯＢ）を配置し、警察等関係機関と連携して生徒指導上の支援を行っています。スクールガードリーダーによる校内外の定期的な巡回や見守り、安全マップの作成、防犯メールの配信により、学校の安全体制の整備充実を図りました。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 生徒指導上の問題については、学校の指導だけでは限界があります。また、通学路の安全点検、危険箇所の改善要望等を行い、児童生徒が安全に登下校できるよう対策を講じる必要があります。さらに、不審者情報についても周知徹底する必要があります。 **【課題等への取り組み】** 学校支援専門員と学校との密な連携、スクールガードリーダーや地域ボランティアによる通学路での安全指導の実施を行いました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
生徒指導上の問題については、学校支援専門員と警察等関係機関との連携により、非行・問題行動の未然防止および迅速な対応ができました。また、スクールガードリーダーの配置、地域ボランティア、防犯メールの全校実施により、学校防犯体制の整備は進んでいます。
不審者事案が発生した場合は、学校支援専門員と警察が連携して、巡回等を行うことにより、深刻な事態に発展しないよう対応しています。

今後の方向性	学校と学校支援専門員と警察等関係機関との連携をさらに強化し、様々な生徒指導上の問題の対応を進めます。また、「事件・事故の発生件数『０（ゼロ）』！」を目指し、定期的な通学路の安全点検、危険箇所の改善要望の継続、安心メール等による不審者事案への早期対応を行うことにより、児童生徒が安全に登下校できるよう努めます。
平成 29 年度の課題	様々な生徒指導上問題に対しても、迅速かつ適切に対応することができています。また、不審者情報の周知徹底や防犯メールの実施により、地域への防犯意識も高まってきました。本年度も連携を強化しながら対応していきます。

【評価委員の意見】
・子ども１１０番の看板が空き家に付いているので、撤去した方がいいと思います。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（４）安心して学べる学校づくりの推進

事 業 名 （予算/決算）	［１５］通学対策事業　（学校教育課：管理係・教務係） （予算：46,812 千円　　決算：45,967 千円）
目　　的	学校の統廃合に伴い、遠距離通学することになった児童生徒の通学費の負担を軽減します。
事業内容	学校の統廃合に伴い、遠距離通学することになった児童生徒の通学費の負担を軽減するため、通学費の補助、スクールバスの運行を行っています。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 遠距離通学する児童生徒の安全確保と保護者の通学費の負担を軽減することや、通学路の実態に合わせたスクールバス運行の見直しを行う必要があります。 **【課題等への取り組み】** バスの定期券の購入費用の補助、スクールバス運行による児童生徒の送迎及びスクールバス運行の見直しを行いました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
稲築西小学校に通学する児童のうち、遠距離通学している児童のバス定期券の購入費用の補助を１００％実施することができました。また、嘉穂中学校及び嘉穂小学校でスクールバスを運行し、遠距離通学となる児童生徒の送迎を行っています。

今後の方向性	今後も、遠距離通学している児童生徒のバス定期券の購入費用の補助を１００％実施します。また、嘉穂小学校と嘉穂中学校のスクールバスによる送迎も行います。スクールバスについては、その運用方法について、更なる協議が必要となります。
平成 29 年度の課題	稲築西小学校と嘉穂中学校に通学する児童生徒のうち、遠距離通学している児童生徒のバス定期券の購入費用の補助を行います。嘉穂中学校の通学路等について、学校及び保護者と協議を行う必要があります。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（５）学校施設整備の推進

事 業 名 （予算/決算）	［１６］学校施設維持管理業務事業　（学校教育課：管理係） （予算：440,260 千円 / 決算：430,885 千円）
目　　的	すべての児童・生徒が安心・安全な環境において、生活（学習）ができるよう、小中学校の補修、修繕、草刈等環境整備を実施し、施設維持の管理を行います。
事業内容	・市内小・中学校１３校（小学校８校、中学校５校）の施設整備及び維持管理 ・施設維持管理業務委託（草刈、清掃、樹木剪定、浄化槽維持管理等）
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 老朽化により、プールの改修を実施します。 安心・安全な教育環境を維持するために、緊急性を要するものから施設の整備を行います。 **【課題等への取り組み】** ・緊急性の高いものから施設整備を実施し、安全性の確保に努めました。 ・児童の快適な学習環境の提供のため、市内小学校８校の空調機設置工事を行いました。 ・稲築西小学校体育館排煙窓改修工事を行い、緊急時の安全性の確保に努めました。 ・老朽化したプールの改修のため、稲築中学校及び稲築東中学校のプールサイド補修工事を行いました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
今年度は昨年度の中学校５校に引続き、小学校８校の空調機設置工事を行いました。
また、稲築西小学校体育館排煙窓改修工事、エレベーター巻上げロープ張替工事を行い緊急性の高いものから優先的に実施しました。

今後の方向性	引き続き安心・安全な環境整備及び維持管理を行っていきます。また、各学校の維持補修工事の要望により、緊急性の高いものから施設の整備を進めていきます。
平成 29 年度の課題	安心・安全な教育環境を維持するため、緊急性を要するものから施設の整備を行います。

【評価委員の意見】
・早め早めの対応管理をお願いします。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（５）学校施設整備の推進

事 業 名 （予算/決算）	［１７］大隈城山校維持管理事業　（学校教育課：管理係） （予算：15,722 千円 / 決算：13,984 千円）
目　　的	すべての生徒が安心・安全な環境において、生活（学習）ができるよう、校舎等の適切な維持管理を行い、教育環境の整備を図ります。
事業内容	大隈城山校の施設整備及び維持管理（建築年度：昭和６１年度）
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 年次計画的に老朽化した施設の整備を図る必要があります。 **【課題等への取り組み】** ・スロープ設置工事を行うとともに、清掃業者や浄化槽維持管理業務等を適切に実施しました。 ・学校と連携を図りながら、適正な予算執行に努めました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
大隈城山校は、地域の後期中等教育機関の教育の場として大きな役割を果たしています。今年度はスロープ設置工事を行う等、施設の整備を行いました。
今後も老朽化した施設の整備を継続的に実施し、安心・安全な教育環境の維持管理及び適正な予算執行に努めます。

今後の方向性	生徒が安心・安全な環境で学習に臨めるよう、教育環境の整備を実施します。
平成 29 年度の課題	建築から３０年が経過しており、経年劣化等による補修箇所があるため、引き続き年次計画的に施設の整備を図る必要があります。

【評価委員の意見】
・エアコンの設置について、現場は非常に厳しい環境です。設置に向けて努力してください。
・エアコンの設置など授業が快適にできるよう努力をお願いします。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実

（５）学校施設整備の推進

事 業 名 （予算/決算）	［１８］大規模改造工事事業　（学校教育課：教育企画係） （予算： 74,383 千円 / 決算： 74,151 千円） （繰越予算：166,224 千円 / 決算：145,363 千円）
目　　的	老朽化した学校施設を改修することにより、安全性、耐久性を向上し、児童生徒が安心・安全な環境において生活（学習）できるよう改修工事を行います。
事業内容	山田中学校大規模改造（校舎棟内部）工事（繰越事業） 山田中学校大規模改造（体育館）工事 山田中学校プール改修工事、山田中学校駐車場整備工事 稲築東小学校防災機能強化工事（体育館・校舎）（繰越事業） 熊ヶ畑小学校木造校舎調査委託
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 安心・安全な教育環境を維持するため、緊急性・必要性を要するものから順次施設の整備を行います。また、学校施設の整備計画の策定にむけ準備を進めていきます。 **【課題等への取り組み】** 老朽化対策及び非構造部材の耐震化を実施するため、緊急性・必要性の高い山田中学校及び稲築東小学校について改修工事を実施しました。 また、計画的に改修工事を実施するため、熊ヶ畑小学校の現況調査を実施しました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

平成２８年度は、安心・安全な教育環境整備のため、山田中学校では、外壁改修による安全性の向上や、空き教室の改修による、多様な教育環境に対応可能な環境整備を行いました。また、稲築東小学校では、非構造部材の耐震化改修を行い、安全性の向上を行いました。

更に次年度に向けて、熊ヶ畑小学校の現況調査を実施し、引き続き計画的に大規模改造工事を実施していく予定です。

今後の方向性	学校施設の老朽化や児童生徒数の減少等、学校を取り巻く環境は刻々と変化しており、多様な教育環境に対応した施設の整備計画の策定が必要になってきます。
平成 29 年度の課題	安心・安全な教育環境を維持するため、緊急性・必要性を要するものから順次施設の整備を行います。 平成２９年度は、熊ヶ畑小学校と稲築西小学校の大規模改造工事実施設計委託に着手し、安心・安全な教育環境の整備及び多様な教育に対応可能な施設整備の両面に配慮しながら実施設計業務を進めていきます。

【評価委員の意見】

・熊ヶ畑小学校は、昔ながらの学校の雰囲気を大事にしてもらいたいと思います。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（６）地域に開かれた学校づくりの推進

事 業 名 （予算/決算）	［１９］学校関係者評価事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：６１３千円 / 決算：２１９千円）
目　　的	教育活動等の成果の検証とその客観性・透明性の確保を通じて、学校運営の改善と発展を目指します。
事業内容	保護者、地域住民等の連携強化のために学校関係者評価を全校で実施し、評価結果を公表しています。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 開かれた学校、信頼される学校づくりに向け、学校運営状況を保護者や地域住民等に公表し、周知する必要があります。 **【課題等への取り組み】** 学校関係者評価を全校で実施し、学校ホームページで結果をすべて公表しました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
すべての学校で自己評価に基づく、学校関係者評価の実施･公表・報告が確実に行われました。しかし、公表については、ホームページへの掲載のみの学校が多く周知が不十分だったと感じています。

今後の方向性	学校関係者評価の結果の公表については、その客観性・透明性を確保することができました。今後も、学校運営改善と発展を目指し、学校関係者評価における学校評価結果、改善策の公表を学校ホームページ等で行い、自己評価の質の向上と、保護者・地域住民との連携強化を図ります。
平成 29 年度の課題	学校関係者評価が、真に学校経営の改善に結びつくよう学校を指導するとともに、平成２９年度も適正な学校関係者評価及び学校評価結果、改善策の公表を学校ホームページ及び学校だよりや保護者会等で行います。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（６）地域に開かれた学校づくりの推進

事 業 名 （予算/決算）	［２０］学校開放事務事業　（学校教育課：管理係） （予算：１２５千円 / 決算：５千円）
目　　的	生涯学習社会における、文化、スポーツ等の地域活動の場として、学校施設を開放することにより地域住民の生涯学習の推進を図ります。
事業内容	学校教育に支障のない限りにおいて、市内小・中学校１３校（小学校８校、中学校５校）の体育館及び運動場等の施設を開放します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 各利用団体の学校施設開放に関する利用規定を整備する必要があります。 **【課題等への取り組み】** 学校施設利用団体に対して、利用上の注意事項を徹底し利用マナーの向上に努めました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
学校施設利用者説明会において、利用団体に対して施設利用上の注意事項を徹底しました。また、万が一施設の破損等が発生した場合の連絡等についての確認を行いました。

今後の方向性	引き続き学校施設を開放し、地域住民の生涯学習の推進に努めます。
平成 29 年度の課題	学校施設利用に関する使用料の減免要綱の見直しを行います。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実

（７）小中連携教育への取組み

事 業 名 （予算/決算）	［２１］小中連携教育等基本方針作成事業 （学校教育課：教務係・指導係） （予算：個別予算なし ／ 決算：－）
目　　的	義務教育９年間を通して、系統的、継続的な学習指導や生徒指導を行い、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むために、小中学校の校区型の小中連携事業を基本に推進し、小中学校すべての教職員による協働体制を整え、協働実践を行います。
事業内容	小中連携教育等基本方針を作成し、必要に応じモデル校による実施を行います。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 小学校と中学校の教育課程の違いや学校文化等のすり合わせのためのモデル校選定や校舎一体型、分離型等の教育条件整備を検討する必要があります。 **【課題等への取り組み】** 学校教育課内での各係による状況把握及び協議を行いましたが、モデル校の選定等ができず不十分でした。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性		○		
事業の効果			○	
事業の効率性			○	

【自己評価の根拠】
校舎建築又は改築、カリキュラムの編成等、先進地校視察を行いながら協議を進めてきましたが、小中一貫校にむけた具体的な論議が不十分でした。

今後の方向性	小中連携、小中一貫校については、文部科学省が推進している事業の一つであります。本市の実態等しっかり分析しながら検討を進めていきます。
平成 29 年度の課題	本年度も先進地視察等を通して、小中連携及び小中一貫教育の嘉麻市内でのあり方を研究し、小中連携教育等基本方針を作成する必要があります。また、モデル校を市の研究指定校とし、検証を行います。

【評価委員の意見】
・小中連携教育は大変有意義であり、広く検討しながら進めてほしいです。

教育委員会評価	今回	C
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実

（７）小中連携教育への取組み

事 業 名 （予算/決算）	［２２］小中連携・一貫教育研究事業 （学校教育課：教務係・指導係） （予算：個別予算なし ／ 決算：－）
目　　的	研究開発校や構造改革特区における小中一貫教育の取組みの成果を踏まえ、カリキュラム区分の弾力化など小中学校間の連携・接続を改善するための仕組みについて、種々の観点に配慮しつつ十分に研究していきます。また、小中学校間の教職員の人事交流や共同研究、小中連携した学力向上の取組み、生徒指導の連携などを図ります。
事業内容	小中学校間の教職員の人事交流や共同研究を通して、小中連携を推進しています。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 小中学校が連携した学力向上の取組みや生徒指導体制のシステムを機能化することが必要です。 **【課題等への取り組み】** 小中学校間の教職員の人事交流を実施し、小中連携に向けた各中学校区での取組みの推進を図るようにしました。各校区ではシステムが形づくり機能するよう指導しました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

５中学校区毎に、小中学校が連携して取組みを推進できる組織ができ、児童生徒の実態交流や学力向上に関する取組みの協議、生徒指導の取組みの共有等が進んできました。しかし、小中連携に関しての協議時間の確保が難しく、連携の必要性を強く感じながらも、共通理解と共通実践がまだまだ不十分です。

今後の方向性	本市の４つの教育課題（学力の向上、不登校児童生徒の解消、規範意識の醸成、郷土を愛する人材育成）を解決するための方策として、小中連携の重要性の認識は高くなってきました。今後も継続して取組みます。
平成 29 年度の課題	小中連携して取り組む研究指定校制度が今年で２年目となります。このことも一つの糸口としてモデル校の検証を進めます。校区としての取組みづくりをさらに意識化できるよう、研修の際にもグルーピングを工夫します。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（８）教育の機会均等の促進

事 業 名 （予算/決算）	［２３］就学援助事業　（学校教育課：教務係） （予算：85,439 千円 / 決算：83,246 千円）
目　　的	学校教育法第１９条に、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」と規定されており、経済的理由により就学困難な児童生徒及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、教育費の一部を援助します。
事業内容	経済的理由により就学困難な児童生徒及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、教育費の一部を援助します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 生活保護基準の見直しに伴う規程の経過措置が平成２８年度で終了します。そのため、経済的理由により就学困難な児童生徒の支援を最優先とした基準の見直しが必要です。 **【課題等への取り組み】** 認定基準について、経過措置が平成２８年度に終了したため、就学困難な児童生徒の支援を最優先とした適正な基準の見直しを行いました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
経済的理由により就学困難な児童生徒及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の申請に対し、学用品費、給食費、修学旅行費等の教育費の一部を援助することができました。しかしながら、教育費の中には早急な対応を必要とするものもあり、これらの援助方法について見直しが必要です。

今後の方向性	今後も、継続して該当児童生徒への援助と本事業の広報等の情報発信による周知を行っていきます。また、実態に応じた援助方法について検討します。
平成 29 年度の課題	経済的理由により就学困難な児童生徒の支援を最優先とするため、必要な援助を適切な時期に実施するための見直しが必要であると考えます。

【評価委員の意見】
・見直しについては、具体的な取組みと実現の時期を設定して、急いでほしいと思います。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実
（８）教育の機会均等の促進

事 業 名 （予算/決算）	［２４］奨学金事業　（学校教育課：教育総務係） （予算：21,509 千円 / 決算：21,465 千円）
目　　的	嘉麻市独自の奨学金制度により、高等学校や大学等に進学、修学するための奨学金を貸し付け、経済的理由による修学困難者の軽減を図ります。
事業内容	嘉麻市奨学資金貸付及び返還に関する業務 （貸与中の人数：　４８人） （返還中の人数：２００人）
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 返還金徴収率の向上に努めるとともに、未然に滞納を防止する措置を実施します。 **【課題等への取り組み】** 滞納者に催告状を送付し、その後納付相談を行うことで徴収率の向上に努めました。 口座振替制度の推進についても継続して行っています。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性			○	

【自己評価の根拠】
奨学金制度を広報紙、市ホームページに掲載するとともに、中学校・高等学校に周知を行い、新規に２１名の貸付を行いました。
返還事務については、口座振替の推進、９月に４８件、１月に３９件の催告状を送付しました。また、催告後の納付相談等により、嘉麻市奨学金返還の収納率が平成２７年度 51.99%から平成２８年度 54.10%と 2.11 ポイント上昇しました。
収納率の上昇は、納付相談や口座振替の推進等新たな滞納者を生まないための取組みの効果が表れていると考えます。また、今後は奨学金制度自体の見直し等が必要であると考えます。

今後の方向性	経済的理由による修学困難者の負担軽減の点からも、事業を継続して実施します。
平成 29 年度の課題	返還金徴収率の向上に努めるとともに、滞納を未然に防止する措置を実施します。また、経済的な格差による学力格差を生まないための奨学金制度のあり方を検討していく必要があると考えます。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（１）道徳性と自立心を養う心の教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［２５］道徳教育推進事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：個別予算なし ／ 決算：ー）
目　　的	学校における道徳の時間の充実を図るとともに、家庭や地域社会との連携を図りながら、豊かな自然・社会体験を通して児童生徒の内面に根差した道徳性の育成を図ります。
事業内容	学校における道徳の時間の充実を図るとともに、家庭や地域社会との連携を図りました。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 道徳の時間の指導時数や指導すべき内容項目の指導は、実施することができています。しかし、指導の質を高める必要があります。 **【課題等への取り組み】** 教育活動全体で行う道徳教育の要である道徳の時間の学習が、適切に実施されるよう、指導・助言を繰り返し行いました。各学校での道徳の時間の授業参観を実施しました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
各小中学校ともに、年間３５時間（小１は３４時間）の指導時数は確保できています。また、学習指導要領に示されている内容項目も全て指導されています。授業の質を高めるためには、初任者研修における道徳の研究授業を中心に授業改善を進めました。

今後の方向性	本市の教育課題の一つである規範意識の醸成には、道徳教育、中でも道徳の時間の充実は不可欠であり、今後も継続して指導・助言を行います。道徳科としての指導の円滑な実施に向けて、研修が必要です。
平成 29 年度の課題	道徳科のカリキュラムや評価の基準づくり、考え論議する道徳科学習指導の在り方等について、主幹教諭研修会で方向性と実践モデルを示し、共通理解を図ります。本年度は、稲築東小学校が道徳で研究発表を行うため、その場を有効に活用して進めます。

【評価委員の意見】
・道徳の教科化について、結論的にも押しつけの教育になりはしないかと疑問があり、心配です。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（１）道徳性と自立心を養う心の教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［２６］キャリア教育推進事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：２９５千円 / 決算：１３０千円）
目　　的	家庭や地域と連携して、職業・職場体験活動等を行い、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を支援し、望ましい勤労観、職業観を育てます。
事業内容	市内の小中学校において、総合的な学習の時間や特別活動等の中で、基礎的・汎用的能力を育成する教育活動を展開します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 地域と連携した活動を充実するためにも、中学校においては、校区内・市内の協力事業所を開拓する必要があります。また、総合的な学習の時間及びキャリア教育のねらいに迫るよう、活動構成の見直しが必要です。 **【課題等への取り組み】** 職場体験学習を市内すべての中学校で実施しました。「郷土を愛する人材育成」の実践と合わせて学習を充実させるように取り組みました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
職場体験学習（２日～３日）を市内の全中学校で実施し、生徒の職業観や進路選択に向けた意識に変容がみられました。「郷土を愛する人材育成」の取組みと並行して、活動構成の見直しを図りました。知る→親しむ→愛着をもつ→誇りを感じる段階性を意識した授業づくりの中で、社会的・職業的自立に向けた取組みを進めました。

今後の方向性	本事業は、体験的な学習活動ができること、生徒自身に職業観や労働観、自己の生き方を見つめさせることができることから効果が期待できる事業です。 郷土の良さを味わう機会としても、学習をさらに充実させていきます。
平成 29 年度の課題	人間関係・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力についての共通理解を深め、授業場面への具現化をめざして指導助言を継続します。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（１）道徳性と自立心を養う心の教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［２７］ボランティア活動推進事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：個別予算なし ／ 決算：－）
目　　的	家庭や地域社会と連携して、児童生徒が他の人々や社会のために役立つとともに自分が価値のある存在であることを実感し、よりよく生きるための道徳的実践力の育成を図ります。
事業内容	市内全小中学校において、ボランティア活動を計画的に実施しました。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 各学校においてボランティア活動が定着してきているものの、地域や家庭の協力を得るなど、地域社会と連動した活動を進める必要があります。 **【課題等への取り組み】** 各学校のボランティア活動の啓発や活動の様子を、家庭や地域に積極的に発信するように努めました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】

地域の清掃活動、河川清掃等、各学校の特色を活かしたボランティア活動を実施できました。また、学校通信等で、ボランティア活動の啓発や活動の様子を発信することができました。「郷土を愛する人材育成」の視点と合わせて、これまでの学習活動の見直しを図りました。

今後の方向性	道徳科との関連を図ったり、鍛ほめ福岡メソッドの実践との連動性を高めたりして、効果的な実践を目指します。
平成 29 年度の課題	道徳の時間との関連指導、異学年との交流等が進むように指導します。

【評価委員の意見】

・「鍛ほめ福岡メソッド」という言葉は、先生たちはすんなり受け入れられたのですか。一般市民はわからないと思います。

・鍛えて、ほめるという教育の方法は、極めて実践的で良いと思いますので、ぜひ具体的に進めてほしいと思います。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
（２）健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［２８］学校保健事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：19,776 千円 / 決算：19,521 千円）
目　　的	家庭、地域及び関係機関等の連携・協力により、児童生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図ります。また、事故、加害行為、災害等により、児童生徒に危険又は危害が生じた場合の対処として、災害共済に加入します。
事業内容	児童生徒、教職員の健康診断等を実施しました。また、市内の小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置し、児童生徒の保健、安全に関する指導を行いました。さらに、各学校において学校保健及び学校安全に関する年間計画を作成し、適切に実施するよう指導助言を行いました。 災害共済加入手続きや給付金の支払い業務を行いました。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 法令に則り、児童生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図ることが必要です。また、健康診断受診率が目標達成にかかる指標（１００%）を達成できるよう関係機関と連携を図り、小中学校へ指導していく必要があります。 **【課題等への取り組み】** 要精密検査対象者の医療機関受診奨励等や教職員向けのストレスチェックを行い、児童生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図りました。また、健康診断実施日に欠席した児童生徒が後日、個別に健康診断を受診できるよう学校保健会を通じて医療機関へ協力依頼を行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置し、各学校の養護教諭等と連携した児童生徒の保健、安全に関する指導を行いました。さらに、教職員に対しメンタル不調を未然に防止するためのストレスチェックを実施しました。しかしながら児童生徒、教職員の健康診断を実施することはできましたが、健康診断実施日に欠席した全ての児童生徒が健康診断を受診するには至りませんでした。
災害共済加入手続きや給付金の支払い業務を確実に処理しました。

今後の方向性	法令により実施している事業であり、確実な実施を行います。
平成 29 年度の課題	今年度も、法令に則り、児童生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図ります。また、健康診断受診率が目標達成にかかる指標（１００%）を達成できるよう関係機関と連携を図り、小中学校へ指導していきます。養護教諭を中心とした年間指導計画の内容の充実に向けても指導します。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（B）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
（２）健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［２９］学校給食運営事業　（学校教育課：学校給食係） （予算：231,419 千円 / 決算：226,296 千円）
目　　的	嘉麻市内小中学校で完全給食を行い、学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、魅力ある学校給食の充実につとめます。また、「食育」に関する授業の実施で「食事の重要性」等を身につける教育を支援します。
事業内容	嘉麻市内全小中学校で、完全給食を実施しています。衛生管理の徹底を図るために、施設の改修及び調理員を対象とした衛生管理研修を実施しています。 食育に関しては「食育の日」「食育月間」はもとより、年間を通じて学校毎に実態に応じた取組みを行っています。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** ・地産地消を継続推進し、利用率の向上をめざします。 ・安心・安全な給食の提供を行うため、保健所等による衛生管理立ち入り調査にて指摘された事項について対応していきます。 **【課題等への取り組み】** ・アレルギー対応マニュアルを活用し、市内全学校で画一化を図りました。 ・地元直売所を活用し、地場産の利用率向上に努めました。 ・牛隈小学校及び下山田小学校の調理場の床塗り替えを行い、更なる衛生管理の徹底を図りました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
年間給食回数１８５回を基準に実施し、１日約 3,400 食の調理提供を行いました
地産地消の推進に関しては、例年同様に地元直売所を通じ、地場産の利用に努めましたが、生産者の高齢化による生産量の低下および天候不良のため、地場産利用 16.6%で、前年度に比べ 17.4 ポイント下降しました。

今後の方向性	安心・安全な学校給食の実施のため、職員の衛生管理意識の徹底と、アレルギー対応についても適切な対応を図ります。
平成 29 年度の課題	安心・安全な学校給食を実施し、更なる衛生管理の徹底を図り、食物アレルギーの対応についても適切な対応を図ります。また、「食の重要性」を身につける教育の支援を行います。

【評価委員の意見】
・嘉麻市教育センターにある適応指導教室（れすとぴあ）に、学校給食を運んでいただいています。素晴らしい取組みであり、ぜひ継続してほしいと思っています。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
（２）健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事 業 名 （予算/決算）	［３０］学校給食費算定及び収納事業　（学校教育課：学校給食係） （予算：３２２千円 / 決算：２４４千円）
目　　的	学校給食費は賄材料費の購入に要する経費のみを保護者負担としており、安心・安全な食材の購入等を行うための算定を行います。 また、受益者負担の公平性を確保するために、徴収業務を行います。
事業内容	栄養バランスのとれた食材の購入ができるよう予算管理を行っています。 受益者負担の公平性を確保するため、給食費徴収業務を行っています。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 保護者の公平な給食費負担をめざし、収納率の向上に努めます。 **【課題等への取り組み】** 収納率向上への取組みとして、未納通知や催告書を発送するとともに、訪問による徴収も実施しました。高額未納者に対しては、納付誓約書や児童手当からの引去りの同意書の提出により、分割納付や児童手当からの引去りを実施しています。賄材料費等の高騰により、学校給食費の見直しを行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
未納通知や催告書の発送、訪問徴収等収納率向上への取組みを実施しました。
現年度（Ｈ２８）の収納率は 98.79%で、前年度に比べて 0.37 ポイント上昇し、過年度の収納率は 23.21%で、2.17 ポイント下降しました。
平成２９年度から学校給食費の値上げについて、学校給食運営審議会において審議していただくとともに、保護者負担の軽減について協議をした結果、値上げ相当額は市が負担し、保護者負担額は据え置くこととしました。

今後の方向性	栄養バランスのとれた安心・安全な食材の購入を行うための算定を行います。また、受益者負担の公平性を図るため、徴収業務を行います。
平成 29 年度の課題	受益者負担の公平性を確保するため、更なる収納率の向上を目指し、徴収業務を行います。

【評価委員の意見】
・保護者負担の据え置きについては、教育委員会の判断に敬意を表したいと思います。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（Ａ）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（３）家庭・地域・学校における読書活動推進

事 業 名 （予算/決算）	［３１］読書活動推進事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：27,222 千円 / 決算：26,960 千円）
目　　的	児童生徒の学習や読書意欲を高めるため、市立図書館や嘉麻市学校図書館協議会等との連携を図りながら、学校図書館の整備や図書司書機能の充実に努めるとともに、組織的、継続的な読書活動の推進に努めます。
事業内容	図書館の管理運営、図書教育の指導補助、図書の受入れ、貸出し業務、書架の整理、廃棄業務、教科用図書関係事務等を行うため、図書司書を配置し、学校図書館の整備、充実を図っています。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 小中学校の読書活動推進のため、各小中学校に図書司書を配置し継続した図書館の環境整備が必要です。 **【課題等への取り組み】** 本年度も各小中学校に図書司書を１３名配置し、学校図書館の環境整備や図書司書の効果的な活用に努めました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
各小中学校に図書司書を配置し、図書館の整備や読書活動の充実が図られています。また、朝読書や読み聞かせ等の読書活動を行うなど、組織的、継続的な読書活動の推進に努めています。しかしながら、児童生徒一人当たりの年間貸出冊数は小中学校平均で３５冊となり、指標（年間６０冊）を下回っている状態です。

今後の方向性	すべての学校に図書司書を配置し、図書館教育担当教諭や司書教諭と連携しながら、効率的・機能的な図書館運営の推進する必要があります。図書館の整備や読書活動の充実とともに、図書館が資料センターの機能を発揮することが求められています。
平成 29 年度の課題	読書活動推進のために、児童生徒一人当たりの年間貸出冊数を６０冊以上（週２冊以上）の指標を継続してたて、確かな学力と豊かな心を培います。また、蔵書の整備を行い、図書司書と担任が連携し国語科等の指導において、教材として図書館を資料センター機能として活用できるよう指導に努めます。

【評価委員の意見】
・年間貸出冊数６０冊以上は、今の子どもたちは忙しく、かなりハードルが高いと思いますので、低めの目標設定にしても良いと思います。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
（４）いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

事 業 名 （予算/決算）	［３２］適応指導教室（れすとぴあ）推進事業 （学校教育課：教務係・指導係） （予算：8,006 千円 / 決算：7,994 千円）
目　　的	心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒の学校復帰を支援し、不登校児童生徒数の減少に取組みます。教育相談、体験学習、教科学習、集団生活への適応指導、学校生活及び社会生活に適応できるための助言、援助を行います。
事業内容	教育相談、体験学習、教科学習、集団生活への適応指導、学校生活及び社会生活に適応できるための助言、援助を行います。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 適切な支援を実施するため、個別の支援計画･指導計画を作成します。更なる不登校児童生徒数の減少を目指します。 **【課題等への取り組み】** 個別の支援計画・指導計画を作成しました。不登校傾向、不登校の児童生徒の学校復帰を支援するため、集団生活への適応指導、教育相談等も実施しました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
適応指導教室に４名の適応指導教室指導員兼相談員を配置し、適応指導、教科指導、教育相談等を行いました。平成２８度は適応指導教室（れすとぴあ）に７名の生徒が在籍しました。中学３年生は４名在籍しており、完全な学校復帰はならなかったものの、適応指導教室での教科学習等の指導の結果、４名とも高校（通信制含む）へ進学しています。

今後の方向性	「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保に関する法律」の趣旨を踏まえ、学校支援及び社会的自立を支援するネットワークの構築を図ります。
平成 29 年度の課題	福岡県立大学「不登校・ひきこもりサポートセンター」との連携を図り、れすとぴあ及び、れすとぴあへも行くことができない児童生徒に対する学習支援を進めます。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（４）いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

事 業 名 （予算/決算）	［３３］教育相談推進事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：5,516 千円 / 決算：5,171 千円）
目　　的	いじめや不登校、暴力行為などの問題行動を起こした児童生徒に対して、専門的な知識や経験を有するスクールカウンセラー（臨床心理士）がカウンセリングを行い、スクールソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）が中心となって関係機関と連携をとりながら問題解決にあたります。
事業内容	嘉麻市教育センターにスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置し、不登校等の未然防止に向けて支援を行います。また、必要に応じて、保護者や教職員等の教育相談を実施します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** いじめ・不登校の問題は、年々複雑になっており、今後も専門的知識をもった職員の助言等が必要です。また、教育相談についての組織的な体制を整え、学校を支援していくことが必要です。 **【課題等への取り組み】** 学校と嘉麻市教育センターが連携し、スクールカウンセラーによる教育相談、スクールソーシャルワーカーによる関係機関との連携により、いじめ・不登校の解消、未然防止に取組みました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】

平成２８年度の嘉麻市教育センターにおける教育相談件数は 314 件でした。学校からの要請を受け、児童生徒や教職員を対象に教育相談を行いました。また、いじめ・不登校への対応については、学校だけでは対応が難しい場合もあり、スクールソーシャルワーカーを中心として、関係課や児童相談所等の関係機関と協力しながら、問題解決にあたりました。平成２８年度のいじめの認知件数は３８件と、細かい見取りにより増加しています。また、不登校児童生徒数は４９名に減少しました。

今後の方向性	今後も学校と嘉麻市教育センターが連携し、いじめや不登校傾向の児童生徒への早期発見、早期対応、さらに、未然防止の取組みを進めていきます。
平成 29 年度の課題	児童生徒を細やかに見とることで、問題の未然防止、早期発見に努めます。また、特別支援教育関係の相談窓口としても対応します。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（４）いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

事 業 名 （予算/決算）	［３４］学校支援相談員配置事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：7,420 千円 / 決算：7,072 千円）
目　　的	家庭にひきこもりがちな不登校児童生徒に対して、児童生徒の抱える心の問題を理解し、積極的に取組む意欲を有する訪問指導員を派遣し、ひきこもりがちな児童生徒やその保護者等の悩みや不安を解消し、適応指導教室への通室及び学校復帰を支援します。
事業内容	不登校及び不登校傾向の児童生徒宅を訪問し、適応指導教室への通室及び学校復帰を支援します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 学校と嘉麻市教育センターが連携し、不登校傾向の児童生徒への早期対応、不登校の解消･改善に取組み、年々増加している不登校児童生徒数を減少させることが必要です。 **【課題等への取り組み】** 現在学校支援相談員を３名配置し、家庭訪問等を行うことで、適応指導教室への通室及び学校復帰への支援を行いました。また、学期ごとに福祉事務所等の関係機関と情報共有を行いました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

現在学校支援相談員を３名配置し、家庭訪問等の支援を行うことで、適応指導教室への通室、学校復帰者の増加、欠席日数の減少等、不登校解消に向けての成果は出ています。特に、平成２３年度までは増加傾向にあった不登校児童生徒数ですが、平成２３年度：１１９名、平成２４年度：１０９名、平成２５年度：７６名、平成２６年度７７名、平成２７年度５２名、平成２８年度４９名と減少傾向にあります。

今後の方向性	今後も不登校解消の取組みを組織的に行う必要があります。また、各学校にも３ヵ年の目標設定を持たせ、平成２９年度までには、市内小中学校不登校児童生徒数３５人以下を目指します。
平成 29 年度の課題	不登校傾向の児童生徒への早期対応、不登校の解消･改善に積極的に取組み、不登校児童生徒数を減少させることができてきましたが、引き続き不登校傾向の児童生徒に係る課題を解決するには、関係機関との連携強化が必要です。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（５）家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事 業 名 （予算/決算）	［３５］地域教育資源活用事業　　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：1,202 千円 ／ 決算：９５４千円）
目　　的	学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校の創意を生かした教育課程を編成し、地域社会の現状を踏まえ、児童生徒の学習に協力することのできる地域の人材や施設を生かし、教育活動を行います。
事業内容	専門的な知識や経験を持っている人から話を聞いたり、技術を見せてもらったりする体験は、子どもたちの学びを深める上で、たいへん効果的であり、地域の人材を外部講師として招き、農業体験や物づくり指導を推進します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 地域の特性や学校の実態に応じて、地域資源を活用した学習展開を充実させるために、環境教育推進の側面と連動性を持たせ、教育課程改善を進めます。 **【課題等への取り組み】** 「郷土を愛する人材育成」の取組と関連させ、教育課程改善の方向性や視点、資源について、主幹教諭（教務主任）研修会で示し、改善作業を進めました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

地域の特性を生かし、農業体験や物づくり指導を受けるなどの、地域教育資源を活用した教育活動を展開することができました。特に、専門的な知識はもちろんのこと、これまでの経験は、児童生徒自身に今後の生き方を考える上で大変有効です。教科の特質に応じたねらいの設定や学習展開であるかどうかを見直す必要があります。

今後の方向性	今後もカリキュラムの見直し及びゲストティーチャーの活用計画の作成、実施、評価を行える意図的・継続的な学習を推進する必要があります。
平成 29 年度の課題	郷土を愛する人材育成の全体構想を周知し、昨年度各学校で作成した学習展開モデルを確実に実践し、改善を図ります。

【評価委員の意見】

・ここでいう「教育資源」とは「ひと」であり、どうしても「もの」に見えるので、そういう認識を含めた言葉にあらためてほしいと思います。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（５）家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事 業 名 （予算/決算）	［３６］学社連携融合事業　（生涯学習課：社会教育係） （予算：個別予算なし ／ 決算：－）
目　　的	子どもたちの総合的な健全育成と学力向上の手段として学社連携を推進するとともに、多岐にわたる学校教育の指導に、地域の教育力を活用し、地域全体の教育力を高めます。
事業内容	・学社連携に関わる推進母体の確立 ・推進母体を中心とした意見交換会の実施 ・人材バンクを活用した学校との連携 ・事業の積極的な周知活動 ・意見交換会で出た事業の支援や各団体事業での学社連携の意識醸成
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 定期的な懇談会を開催することにより、お互いの意見交換による地域の情報を共有し、学校・地域・家庭の連携した事業への取組みになるよう支援していきたいと思います。 **【課題等への取り組み】** 学校と地域の日程調整がうまくいかず開催できなかった地区がありましたが、ワールドカフェを取り入れた懇談会、小・中学生と地域の人たちと交流を行うことを目的にしたスポーツ大会、小学校の行事に合わせて地域の人達と一緒に行う餅つき大会、中学校のＰＴＡ活動と合同での環境美化活動を行い、その後意見交換会を行いました。それぞれの地域で工夫した取り組みを行うことにより、地域と学校の交流を行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
それぞれの地域で青少年育成住民会議が主体となり、学校と地域の連携した取り組みを行いました。地域の特色に合わせた事業を継続して実施することにより、地域と学校の交流が広がり、地域の教育力向上につながるものと考えます。また、地域ごとの活動により、地域に根ざした取り組みができていると思います。人材バンクの利用や子ども会活動などにおいても、地域と学校が連携した取り組みが行われています。

今後の方向性	それぞれの地域が、その地域でできる活動を通して、学校と地域の人が交流できるような事業の展開を支援していきます。 人材バンクの活用や子ども会活動（スポーツ・カルタ等）など、学校と地域の連携強化を推進します。
平成 29 年度の課題	懇談会の開催だけでなく、それぞれの地域が実施する活動を、学校と地域の交流の場としてよりよいものにするため、支援する必要があります。 人材バンクの活用や子ども会活動についても、学校と地域が協力・連携できるよう支援する必要があります。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（５）家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事 業 名 （予算/決算）	［３７］家庭教育支援事業　（生涯学習課：社会教育係） （予算：４７６千円 / 決算：４４６千円）
目　　的	子の教育について第一義的責任を有する保護者に対し、発達段階に合わせた諸問題解決のための講座等の実施や、子育てに関する情報や学習機会を提供し、家庭の教育力の向上を図ります。
事業内容	・保護者参観、ＰＴＡ行事等を活用した家庭教育に関する学習機会の提供。 ・青少年関係の社会教育関係団体並びに関係機関との連携・参画。 ・地域住民向けの啓発。 ・子どもを取り巻くメディアが及ぼす影響やその対策等に関する啓発活動等。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** こども育成課、子育て支援センター、健康課（母子保健係）、スポーツ推進課などと連携し、事業展開を行います。また、地域ボランティアの育成により、地域に根ざした家庭教育事業を展開します。 メディアの普及による、保・幼・小・中・高校生の生活状況の改善など、保護者を通した、メディアによる啓発事業を展開していきます。 **【課題等への取り組み】** 年間を通して、健康課や図書館係等と連携し乳幼児健診時や保・幼・小・中・高校へ出向き、メディアが与える影響やトラブルなど「メディアに関する情報提供」を行うことで、より多くの幼児・児童・生徒・保護者に啓発を行いました。 地域ボランティアの育成については、ボランティアの確保が難しい中、高校生ボランティアの協力により、事業を展開できました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
・学習機会の提供回数　　８講座　のべ　６５回
・啓発活動の実施　　１４１回　のべ　7,829 人
子育てスキルの向上と共に、孤独感や育児ストレスの解消につながる講座を実施しました。また、外遊びの機会を提供する事業では、高校生ボランティアの協力で子ども自身の生きる力と親子の触れ合いの場を提供しました。
年間を通してメディアの話を行う機会が増え、保護者とその子どもの発達段階に合わせたきめ細かな情報提供ができました。

今後の方向性	メディアの接触について、年々低年齢化しているため、継続した取り組みを推進します。家庭教育支援事業を地域活動として定着させることで、講座受講者が講座終了後に自主サークルなどグループとして活動できるような支援体制を推進します。
平成 29 年度の課題	家庭教育支援の充実を図るため、他の課・係と情報交換を行い、連携して事業を展開する必要があります。講座受講者が終了後にもグループ活動できるような支援が必要です。地域ボランティアの発掘・育成を行い、家庭教育支援事業を地域活動として定着させることが課題です。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（５）家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事 業 名 （予算/決算）	［３８］青少年健全育成事業　（生涯学習課：社会教育係） （予算：3,929 千円 / 決算：3,717 千円）
目　　的	総合的な青少年の健全育成のための活動並びに関係機関との連携を強化します。
事業内容	・青少年の悩みや相談に、電話や直接対応できるよう嘉麻市教育センターと連携し相談体制の充実を図ります。 ・少年補導委員が効率的に活動できるよう支援を行なうとともに、嘉麻市教育センターと連携し、定期的に登下校時に市内巡回をすることにより、不審者等から児童・生徒の安全を確保するとともに、いじめや非行防止を図ります。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 少年相談センター業務の見直しを行い、嘉麻市教育センターとの連携・協力による少年非行の防止と適切な指導に努めていきます。 補導委員連絡協議会の資質の向上を図るため、研修会等を実施し、適切な巡回指導・街頭指導ができるよう努めます。 **【課題等への取り組み】** 嘉麻市教育センターと連携・協力し、相談業務・巡回業務を実施し、いじめや非行等の早期発見・対処につなげていきました。 補導委員については、県の研修会等へ参加し資質の向上を図りました。また、定期的な巡回や街頭指導により、不審者から児童・生徒の安全を守ることにつなげていきました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

嘉麻市教育センターとの連携・協力により、相談員の定期的な市内巡回と、補導委員による立番により、不審者から児童・生徒の安全を守るとともに、いじめや非行防止に繋がっていると思われます。

電話相談については、嘉麻市教育センターと連携し取り組みました。

今後の方向性	嘉麻市教育センターと協力し、児童生徒及び保護者等からの相談に対応できるよう、継続して取り組みます。 嘉麻警察署等の関係機関と補導委員連絡協議会が連携し、情報共有・情報交換を行い、児童生徒の非行防止と安心・安全なまちづくりを推進します。
平成 29 年度の課題	少年相談センター業務の見直しにより専門相談員が減員となるため、学校教育課や嘉麻市教育センター、関係機関、補導委員と連携・協力し、児童生徒のいじめや非行防止に努めるとともに、早期発見・早期対応を行う必要があります。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（B）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（６）男女共同参画教育の推進

事 業 名 （予算/決算）	［３９］学校における男女共同参画推進事業 （学校教育課：教務係・指導係） （予算：個別予算なし ／ 決算：－）
目　　的	男女共同参画の意識づくりをする上で、家庭や学校・地域での教育が重要であり、「嘉麻市男女共同参画推進条例」の理念に基づき、男女共同参画の趣旨や必要性について教育を通して意識改革と啓発を促進します。
事業内容	学校教育の場においては、指導者の共通認識のもとに男女平等の教育の体制をつくり、男女平等の視点から習慣・行事等の見直し、固定的性別役割分担にとらわれない指導を進めます。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 学校における研修の回数や内容を把握することや、市内の全教職員を対象とした研修会を実施する必要がありました。 **【課題等への取組】** 夏季休業期間を利用して「ＬＧＢＴ研修会」を市内全教職員対象に実施しました。各学校では、校内研修を年１回以上実施しました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
全職員対象の研修会を実施したことで、ＬＧＢＴについての基礎的理解を図ることができ、98.9%が研修の意義を感じていました。この研修を受けて、各学校ではさらに実態や発達段階に応じた研修を実施するなど、研修の必要感が高まり、理解の促進が図られました。日常では、男女混合名簿を使用したり、学校での仕事分担を児童生徒の意欲や適正で決定したり等の状況が定着しています。

今後の方向性	教職員の認識を深め、隠れたカリキュラムとして児童生徒の意識を高めます。
平成 29 年度の課題	市内１３校での校内研修の確実な実施と性に関する指導を推進します。

【評価委員の意見】
・昨年、パンフレットを作成すると言われていましたが、ぐずぐずしている間に子どもたちは卒業していくので、早くつくってほしいと思います。
・ここで「ＬＧＢＴ」を取り上げたのは不可解です。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

（６）男女共同参画教育の推進

事 業 名 （予算/決算）	［４０］地域社会における男女共同参画推進事業 （生涯学習課：社会教育係） （予算：５２千円 / 決算：５２千円）
目　　的	身近に生活する地域社会において、今なお地域に残っている固定的な性別役割分担意識に基づく慣習・慣行の見直しや男女共同参画の啓発を行うとともに、学習機会の提供に努めます。
事業内容	家庭における家事・育児に男性の参画を促すような、また、女性の家事・育児からの負担軽減を図り、日常生活での固定的役割分担意識の解消につながるような事業を展開します。また、実施する事業の中で、男女共同参画についての情報提供など啓発を行います。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 保護者のニーズに対応すると共に、男性保護者が興味を持てるような講座を開催し、男性保護者にアプローチを行っていく必要があると思います。 **【課題等への取り組み】** 保護者と子どもで参加できる講座を企画した場合、女性保護者と子どもの参加が多いため、男性保護者を対象とすることで、男性保護者が参加しやすい取り組みを行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
男性の育児参画を目的に講座を実施しました。子どもと一緒に「泥遊び」という一つの作業を行うことで、たくさんのふれあいや大切な時間を一緒に過ごすことができました。「泥遊び」の後は、家庭でもできるおやつ作りとして白玉ダンゴを一緒に作って食べました。今回の講座を実施したことにより、男性保護者が積極的に家庭での育児や家事に参画するきっかけづくりに繋がったと思います。

今後の方向性	実施する事業の中で、男女共同参画推進課と連携し、男女共同参画の説明や情報提供など啓発を推進します。また、男性の家事・育児への参画を促す講座や男女の性別役割分担意識を解消するような事業の実施を検討します。
平成 29 年度の課題	男性保護者の家庭教育への参画の割合は低いので、家事・育児に男性の参画を促すような講座や、参加者が同じ作業を行うことで男女の性別役割分担意識を解消するような取り組みが必要です。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（１）生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

事 業 名 （予算/決算）	［４１］社会教育関係団体等育成事業　（生涯学習課：社会教育係） （予算：個別予算なし ／ 決算：－）
目　　的	社会教育関係団体が主体的に活動できるよう情報の提供や研修会の実施、事業運営の支援を行い、協働のまちづくりが図られるよう地域のリーダーの育成に努めます。
事業内容	社会教育関係団体をはじめ各種団体が、自主的な団体運営や事業展開が図れるよう指導助言等を行い、育成支援を行います。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 社会教育関係団体の支部を越えた活動の推進、及び自主運営・自主活動を展開できるよう支援を行っていきます。 **【課題等への取り組み】** １０周年記念行事の開催に伴い、支部の垣根を越えた取り組みが展開されました。 支部独自の活動も活発に展開されているため、各社会教育関係団体の支部活動にも、その活動に応じた支援を行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
嘉麻市青少年育成住民会議では、中学生フェスタ（サミット）を主に支援することで、フェスタの取り組みも定着しており、サミットについても継続した取り組みに発展しています。
嘉麻市文化協会では、１０周年事業として支部を越えた取り組みが行われるとともに、年間を通した文化活動が行われました。
嘉麻市子ども会育成連合会では、学校と連携しスポーツ活動や文化活動への積極的な参加を呼びかけるなど、子ども会活動が活性化するよう支援を行いました。また、クリスマス会などの新規事業を開催するなど、活動が低迷している支部の支援を行いました。

今後の方向性	社会教育関係団体の、行政と協働した事業の展開の継続と、自主的運営・活動への支援を行っていきます。
平成 29 年度の課題	住民会議では、年間を通して活動が展開されるよう継続した支援が必要です。 子ども会では、支部活動への継続的な支援により、地域での活動を活性化する必要があります。 文化協会では、地域間の交流を推進するとともに、支部を越えた活動が活性化するよう支援する必要があります。

【評価委員の意見】
・中学生サミット（フェスタ）はすばらしい取組みですが、参加者が少なく、もったいないので、「私のエッセイ」とコラボして開催するなど、将来的に何か融合して大きなイベントとして考えてほしいと思います。
・社会教育団体と行政が手を組んで、地域の活性化を発展させていただきたいと思います。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（１）生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

事 業 名 （予算/決算）	［４２］社会教育関係団体活性化補助事業 （生涯学習課：社会教育係） （予算：7,958 千円 / 決算：7,853 千円）
目　　的	社会教育関係団体が運営・展開する事業に対し、適正な補助金を交付し団体の活性化を図り、地域の教育力向上と生涯学習社会の確立の推進に努めます。
事業内容	社会教育関係団体の活性化を図るため、稲築吹奏楽団、嘉麻市青少年育成住民会議、いなつき山笠実行委員会、民俗的伝統行事保存団体３団体（碓井地区：飯田地蔵祭、西郷奉納相撲、上臼井地区神楽）、嘉麻市子ども会指導者連合会、嘉麻市文化協会、嘉麻市ＰＴＡ連合会の９団体に補助金を交付します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 各団体が実施している各種事業を、いっそう活性化するような支援を行っていく必要があります。 **【課題等への取り組み】** 各種団体が行う地域事業や社会教育関連事業へ補助金を交付することにより、継続した取り組みが行われ、地域の繋がりや地域の活性化が図れるよう支援しました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
交付要綱に則った補助金交付も含め、社会教育関係団体が自主的に運営するための支援を行いました。
補助金を交付することにより、各種団体が行う地域事業が、今後も継続した取り組みとして実施できるよう支援を行いました。

今後の方向性	社会教育関係団体への補助金交付については、適正な執行管理を行い、市民の多くに広く生涯学習の機会を提供していけるよう、予算の範囲内で支援していきます。
平成 29 年度の課題	補助金交付について、目的や実施状況を精査し、適正な執行管理を行う必要があります。

【評価委員の意見】
・施設利用料の半額助成について、条件にある年齢制限は撤廃してほしいと思います。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（２）学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事 業 名 （予算/決算）	［４３］社会教育施設整備事業　（生涯学習課：社会教育係） （予算：68,762 千円 / 決算：65,221 千円）
目　　的	市民の様々な学習ニーズに応える生涯学習の場（拠点）を適切に提供できるよう、施設の特徴及び防災上の活用を考慮し、優先度の高いものから改修と整備（保守・管理）を行い、効果的な生涯学習活動の場としての整備を図ります。
事業内容	社会教育施設として、なつき文化ホール・嘉穂生涯学習センター夢サイトかほ・上山田住民ホール・山田市民センター・下山田小学校白馬ホール・山田生涯学習館・稲築住民センターの運営、維持管理を行います。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 生涯学習の拠点として利用しやすいよう効率的な維持管理運営を行うとともに、サービスの向上に努めます。 **【課題等への取り組み】** 定期点検を実施することにより、修繕箇所等の早期発見や経年劣化等による交換を行うなど、必要最小限の経費で施設の維持管理を行いました。 管理運営についても委託業者と協議し、サービスの向上に努めました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

利用者が利用しやすいよう、適切な施設管理運営に努めました。

また、定期的に施設の状況を把握し、職員でできることは職員で行うなど、維持管理費用を抑える努力を行いました。

今後の方向性	施設及び備品の管理・改修・整備・保守など、適切な維持管理を図ります。 耐震補強など施設の長寿命化については、嘉麻市内にある公共施設全体での検討・協議を行っていきます。また、行政改革に伴う施設の見直しの検討を行います。
平成 29 年度の課題	定期的な修繕や機器の更新を行うなど、計画的な整備を行うとともに、老朽化した施設を継続して利用できるよう、効率的な維持管理運営を行う必要があります。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（２）学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事 業 名 （予算/決算）	［４４］ボランティア人材バンク事業　（生涯学習課：社会教育係） （予算：個別予算なし ／ 決算：－）
目　　的	市民の生涯学習を支援するために、仕事や趣味などを通じて身につけた知識、技術、資格等を有する人を登録し、学校や地域のあらゆる場面で、その培った経験、技術等を活かし地域活動を支援する、生涯学習の推進、知の循環型社会の構築に努めます。
事業内容	生涯学習課や関係団体事業で人材バンク登録者を活用した講座や研修会を実施するなど、登録されているボランティアがより活躍できるよう環境の整備を行います。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 人材バンクの派遣回数が減少傾向にあるため、地域や団体等への周知活動が必要です。また、登録者の研修会など、地域への広報も含め検討する必要があります。 **【課題等への取り組み】** 地区公民館の地域活動指導員が地域住民と接する機会が多いため、地域活動をとおしての周知活動を行いました。 登録者の研修会等を開催し、登録者同士の意見交換や交流を深めることができました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性			○	

【自己評価の根拠】

・平成２８年度実績

登録者数：２９６名　１３８団体　　派遣者数：５４３人　１５４回

受講者数：10,051 人（人材バンク事業で受講した人数）

保・幼・小学校を中心に人材派遣を行いました。また、地域の行事等にも派遣を行うことにより、地域への周知が図られました。

人材バンク登録者の更新作業を実施し、登録者の整理を行いました。また、登録者の研修会を開催したことにより、次年度への取り組みが明確になり、人材バンクを利用した事業企画へと進展が見られました。

今後の方向性	登録者の研修会を継続して開催することにより、意見交換や交流の場を増やし、新たな取り組みができるよう推進します。
平成 29 年度の課題	人材バンク事業充実のため、研修会を継続した取り組みにすることで、次年度につながるような事業へと展開していくことと、地域活動での活用等を検討する必要があります。

【評価委員の意見】

・文面を読む限り、自己評価「事業の効率性」のＣ評価は厳しいような気がします。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（２）学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事 業 名 （予算/決算）	［４５］生涯学習推進事業　（生涯学習課：社会教育係） （予算：27,456 千円 / 決算：26,907 千円）
目　　的	市民が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習推進体制の整備をはじめ、生涯学習の総合的推進を図るとともに、地域の生涯学習施設等を活用した生涯学習のための活動を推進します。
事業内容	地域活動指導員を配置し、地域活動及び生涯学習の推進を図ります。 社会教育関係職員・地域活動指導員の研修会への参加や社会教育主事の養成など関係職員の資質向上に努めます。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 行政改革による人員削減や、事業効率が叫ばれる中、職員及び地域活動指導員の資質の向上に努め、地域や市民への生涯学習・社会教育活動を推進します。 **【課題等への取り組み】** 教育事務所や社会教育総合センター主催の研修会に積極的に参加し、職員及び地域活動指導員の資質の向上に努めました。 定期的な会議を開催することにより、情報交換や情報共有を行い、事業の実施につなげました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

研修会へ参加し、現在行っている地域活動に少しでも生かせるよう、地域活動指導員の会議を行うなど意見交換の場を作りました。

職員の削減や人事異動など環境の変化があるなか、地域の人とのつながりを大切にしながら、事業を実施しました。

今後の方向性	人事異動や人員削減による環境の変化があるなか、生涯学習・社会教育に精通した人材育成を計画的・継続的に行うことで、生涯学習・社会教育の推進を図ります。また、事業内容の精査を行い、事業を展開していきます。
平成 29 年度の課題	関係機関が実施する研修会に参加するなど資質の向上に努めるとともに、事業内容の見直しを行い、効率の良い事業運営を行うことが必要です。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（２）学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事 業 名 （予算/決算）	［４６］青少年体験活動推進事業　（生涯学習課：社会教育係） （予算：９８２千円 / 決算：８３８千円）
目　　的	青少年の人格形成に大切な少年期に生活体験や自然体験等の活動を促進し、社会性、自主性等を身につけた地域リーダーとなる人材育成を推進します。
事業内容	子どもの基本的生活習慣の確立を目指し、実行委員会と連携し実施している『通学合宿事業』、小学生が題材に沿ってエッセイを書く『わたしのエッセイ事業』など、子どもの体験活動を実施します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 実行委員会や子ども会などと連携を深め、その中で、ボランティアを募るなどより多くの地域の方とともに、生活体験等の活動を通して、地域リーダーとなる人材育成を推進していく必要があります。 **【課題等への取り組み】** 地域活動をとおしてボランティアの新たな人材への呼びかけと、社会教育関係団体への呼びかけを行いました。 また、稲築・嘉穂については、合宿に参加した６年生や中学生が合宿生のサポートをするサポーター事業をとおして、将来の地域リーダーとなるよう取り組みました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
実行委員である地域の方々とボランティアスタッフの協力により、各地区で通学合宿を実施しました。また、受講生がサポーターとして、合宿生のお世話をするなど、大人や先輩などとの世代間交流が図られ、参加した子どもたちが様々な経験や体験をすることができました。
メディアの普及による活字離れが叫ばれる中、「わたしのエッセイ」事業には、1,103 点の応募がありました。

今後の方向性	生活体験や自然体験等をとおして、社会性・自主性等を身につけた地域リーダーとなる人材育成を推進します。
平成 29 年度の課題	通学合宿参加者募集に工夫をすることで、多くの子どもたちが参加できるよう検討します。 体験活動が実施されていない地域について、事業内容を考慮し実施に向け検討する必要があります。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（２）学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事業名（予算/決算）	［４７］公民館・分館等の連携強化推進事業 （生涯学習課：中央公民館係） （予算：34,769 千円 / 決算：31,808 千円）
目　的	各地区公民館が地域の拠点として機能するよう施設の維持管理を行い、併せて各地区公民館・分館と連携し、地域住民の生涯学習の場として公民館の活性化を図ることを目的とします。
事業内容	分館及び自治公民館と情報共有し、各地域の公民館事業の活性化に向けた取り組みを行います。また、将来の嘉麻市の公民館のあり方について、共通理解を深め、組織の統一化を図ります。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 各地区における実情の改善を図っていくためには、先ず骨格ともなる基本方針を作成し、様々な意見を収集しながら公民館基本計画を策定する必要があります。 **【課題等への取り組み】** 平成２８年度より公民館基本方針及び公民館基本計画の作成に着手し、平成２８年１１月には公民館基本方針及び公民館基本計画の策定について公民館運営審議会に諮問し、意見を求めています。平成２９年度中の策定を目指し、取り組んでいます。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

公民館活動の拠点となる地区公民館・分館における各種講座の開催や社会教育関係団体の活動支援は重要であり、事業の必要性はＡ評価とします。事業の効果としては、講座・イベント等の実施により、ある一定の学習機会の提供や地域住民との交流をもつことができたためＢ評価としました。

今後の方向性	平成２９年度中に策定する公民館基本方針及び公民館基本計画に基づき、地区公民館や分館の役割を明確にし、共通理解を図ることで、地区公民館が更なる地域の拠点施設として機能できるよう努めていきます。
平成 29 年度の課題	公民館基本方針及び公民館基本計画に基づき、地区公民館の役割を明確にし、共通理解を図り、各地域の公民館事業の活性化を図る必要があります。 また、地区公民館や分館のなかには老朽化している施設や耐用年数を超えた施設があり、今後は建替や改修等についても計画していく必要があります。

【評価委員の意見】

・公民館が地域の拠点としてどのように機能するかということを考えたとき、基本方針ではどうなっているのか大いに関心があるので、早く骨格について知りたいと思っています。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（２）学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事業名（予算/決算）	［４８］分館及び自治公民館等活動費補助事業 （生涯学習課：中央公民館係） （予算：8,666 千円 / 決算：8,022 千円）
目　的	分館及び自治公民館への各種補助を行い、地域コミュニティの拠点づくりを図ります。
事業内容	自治公民館施設の維持管理及び各地区における公民館事業を開催するため補助金を交付し、様々な学習の場が提供できるよう地域コミュニティの拠点としての運営を支援します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 各地区における実情の改善を図っていくためには、まず骨格ともなる公民館基本方針及び公民館基本計画の策定が必要です。その策定には、地域住民の様々な意見を収集する必要があります。 **【課題等への取り組み】** 各地区の分館及び自治公民館の実情を把握するため、平成２９年３月より公民館実態調査を実施しました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

市全体の公民館事業の活性化のためには、各地区に設置している分館及び自治公民館等を拠点として、地域住民と一体となって事業を推し進める必要がありますので、必要性はＡ評価としました。

事業の効果としては、公民館活動費の補助金等により、各分館及び自治公民館にてある一定の公民館事業を実施することができたためＢ評価としました。

今後の方向性	分館及び自治公民館については、市内で統一した事業展開を図ることができるよう事業の見直しを行い、適正な公民館の規模を定め、対象区域の設定を行う必要があります。そのため、公民館基本方針及び公民館基本計画を策定し、今後の公民館活動の活性化に努めていきます。
平成 29 年度の課題	現在、着手している公民館基本方針及び公民館基本計画を平成２９年度中に策定し、地域活動と公民館活動の関係を整理し、適正な公民館の規模を定め、対象区域の設定を行っていく必要があります。また、分館及び自治公民館には老朽化している施設や耐用年数を超えた施設があり、施設の統廃合も含め施設全体の管理についても検討していく必要があります。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（２）学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事 業 名 （予算/決算）	［４９］コミュニティ活動支援事業　（生涯学習課：中央公民館係） （予算：４９千円 / 決算：１２千円）
目　　的	地域と行政との「協働」による公民館運営の視点から、公民館の新たな可能性を模索し、今後の公民館づくりを目指すネットワークの構築を図ることを目的とします。
事業内容	地域ぐるみで青少年健全育成に努めるとともに、地域のつながりを強め、地域力の向上を図ることを目的に行われる地域の伝統文化や世代間交流事業等の活動を支援します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 現在、嘉穂地区で開催されている「ときめき学習」を全市の取り組みに広げていくために、地域の関係者に理解と協力を求め、進めていく必要があります。 **【課題等への取り組み】** 地域とのつながりが深い各地区公民館を通じて、「ときめき学習」の開催に向け地域ボランティアへの協力依頼及び企画立案する等を行い、地区公民館・分館を中心に開催ができるよう取り組みました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

ときめき学習での体験活動は、子ども達の自立心及び他者への配慮等、様々な成長の糧となる重要な取り組みであり、必要性はＡ評価とします。事業の効果としては、嘉穂地区では「ときめき学習」が定着しており、地域と公民館が協力し、活発に活動することができました。平成２８年度からは、各地区での実施を目指し、新たに稲築地区、碓井地区でも「ときめき学習」を実施することができました。しかしながら、山田地区では開催までには至らず、開催時期の検討や地域とのつながりに課題を残しました。

〔事業内容〕

ときめき学習　　延べ２３回　　参加者数：９３１名

ふるさと探検隊　延べ１０回　　参加者数：２４２名

今後の方向性	子どもと地域の世代間交流を図り、地域ぐるみで青少年健全育成に努めるため、地域、学校、行政の協働で「ときめき学習」を各地区に広めていきます。
平成 29 年度の課題	平成２８年度では実施できなかった各地区での「ときめき学習」の実施に向け、各地区公民館及び分館と連携し、事業を進めていきます。また、その内容を更に充実したものにする必要があります。

【評価委員の意見】

・「ときめき学習」や「ふるさと探検隊」は、とっても魅力的な感じがします。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（２）学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事 業 名 （予算/決算）	［５０］公民館事業　（生涯学習課：中央公民館係） （予算：2,063 千円 / 決算：1,970 千円）
目　　的	住民相互の交流と教養の向上、更には健康増進を図り、市民の生きがいづくりの場を提供することを目的とします。
事業内容	地域住民の生活に根ざした教育・文化に関する各種の事業・講座を開催します。また、公民館事業の活性化を図るため、市民の生涯学習活動の発表の場を提供するイベントを開催します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 地域住民のニーズの把握を行うよう、アンケート等の検討や今後の公民館のあり方についての方向性を見出し、公民館基本計画の策定に繋げていきたいと考えます。 **【課題等への取り組み】** 公民館基本計画策定に伴い、市民の意向を取り入れるための市民アンケートを実施するにあたり、その内容の検討を行いました。アンケート内容については、嘉麻市公民館運営審議会に提案し、検討結果を反映しました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

公民館講座については、多様な学習機会を提供することにより、個々に学ばれたことが市民参画という形で地域に還元され、地域コミュニティの活性化に繋がるものであるため、事業の必要性はＡ評価とします。

〔事業内容〕

盆踊り講習会	延べ６回	参加者数：１８８名
おもてなし講座	延べ３回	参加者数：　６４名
サルビア大学	延べ１０回	参加者数：３９３名
夢まつり	延べ１回	参加者数：２３０名
成人式	対象者４３９名	参加者数：３３２名（出席率：75.6%）

今後の方向性	中央公民館のみならず、地区公民館、分館など、地域に根差した施設での講座の実施が必要であるため、今後は、地区公民館、分館との連携した講座の実施に向け、協力・支援を強化していきます。
平成 29 年度の課題	平成２９年度では、公民館基本計画策定に伴う市民アンケート及び公民館利用者アンケートを実施し、嘉麻市民の公民館での活動状況や意向等の把握に努め、公民館事業の活性化を図る必要があります。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（３）図書館の利用促進

事 業 名 （予算/決算）	［５１］図書館施設管理運営事業　（生涯学習課：図書館係） （予算：94,150 千円 / 決算：92,513 千円）
目　　的	図書館施設及び図書館システムを適切に管理運営することにより、読書環境の整備・充実を図り、快適かつ安心して利用できる図書館サービスを提供することを目的とします。
事業内容	・図書館施設及び図書館システムの維持管理・選書等資料の管理 ・配本車の巡回・移動図書館車の運行・図書館だよりの発行　等
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 稲築図書館の老朽化による対策は言うまでもありませんが、他の３つの図書館においても施設の長寿命化に向けての対策が急務となっています。点検評価では移動図書館車の増設及び図書館憲章の掲示の必要性が挙げられました。 **【課題等への取り組み】** 施設の補修等については随時行い、市民が安心して利用できるように施設の維持管理を行いました。施設の長寿命化については、社会教育施設全体の中で今後検討していきます。また、移動図書館車については、運行計画を見直し更なる活用に向けて検討しました。図書館憲章は、各図書館に「自由に関する宣言」設置し、その理念について図書司書が共通理解をするための研修会の開催を 29 年度で開催することを検討しました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

４つの図書館は、年齢を問わず全ての嘉麻市民の「地域の知の拠点施設」としての重要な役割を担っており、その必要性は大きなものがありますので、事業の必要性についてはＡ評価としました。移動図書館車の運行を拡充したことで、移動図書館車を利用しての貸出冊数は、前年度に比べ 5.5%増加しています。しかし、全体の平成２８年度の市民一人当たりの貸出冊数は昨年に比べ 4.9%減少しており、全体的に読書離れの傾向が進んでいます。よって事業の効果はＢ評価としています。最低限の人員で窓口業務を行い、施設の維持管理にかかる経費についても、できる限りの経費節減を図っていますので、効率性はＢ評価としています。

今後の方向性	図書館が市民の身近な存在となるように、図書館事業を積極的にＰＲすることで図書館に対する理解を深めていただき、図書館利用の促進を図ってまいります。
平成 29 年度の課題	現在の移動図書館車を更に活用し、市内すべての学校への運行拡大及び団体貸出の配本を行う等、子どもの読書環境の更なる充実を図る必要があります。

【評価委員の意見】

・図書館係から提案いただいた「ビブリオバトル」は、素敵な取組みだと思いますので、広く取り上げられていいと思います。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（Ａ）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（３）図書館の利用促進

事 業 名 （予算/決算）	［５２］読書活動推進事業　（生涯学習課：図書館係） （予算：９２９千円 / 決算：９１２千円）
目　　的	おはなし会・講座・読書講演会等、市民の読書活動のきっかけづくりとなる事業を開催し、読書活動の推進及び図書館利用の促進を図ることを目的とします。
事業内容	・ブックスタート事業・絵本ですくすく講座・定例おはなし会 ・朝の読書活動支援（小学校）・ブックトーク（小・中学校）・おはなし工作会 ・夏休みイベント・一日図書館員・職場体験の受入れ ・古典文学講座・読書講演会・映画会
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 参加されたことのない市民に図書館事業を積極的にＰＲする必要がありますが、広報嘉麻の記事スペースの制限や回覧板の配布の制限等があり、図書館未利用者に対する新たな周知方法を検討する必要があります。 **【課題等への取り組み】** フェイスブック等のＳＮＳによる情報発信に加えて、マスコミへの積極的な情報提供・取材依頼、ケーブルテレビでの放映の依頼を行いました。また、情報内容については写真を添付する等、市民にわかりやすいものとする工夫をしています。加えて学校・保育所をはじめ各種施設におけるチラシ配布や窓口における案内を強化する等様々な方法により周知を行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

図書館利用及び読書活動のきっかけづくりとなる図書館事業は重要と考えていますので、事業の必要性はＡ評価としました。４か月の乳幼児を対象にしたブックスタート事業につきましては、１００％の実施率となっており、この事業をきっかけとして、乳幼児期から読書に親しむことを知る機会となっています。また、各図書館で実施している定例おはなし会の参加者が７４６人で前年に比べ３０人増加しており、事業参加後は図書館利用にもつながりましたので事業の効果はＡ評価としました。効率性について、これ以上の経費削減は難しいためＢ評価としました。

今後の方向性	第２次子ども読書活動推進計画に基づき、読書習慣の基礎となる乳幼児期をはじめ子どもの読書活動を支援するため、今後も様々な事業を実施していきます。また、学齢期における子どもの読書活動を支援するため、学校図書館との連携を深め、市内の児童・生徒の読書意欲を喚起する取組を行っていきます。
平成 29 年度の課題	読書離れが始まる中学生、高校生のニーズを把握し、読書活動のきっかけとなるような事業を実施することや、学校図書館との連携を深め、生徒への働きかけを行う必要があります。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

（３）図書館の利用促進

事 業 名 （予算/決算）	［５３］読書ボランティア養成事業　（生涯学習課：図書館係） （予算：１０千円 / 決算：９千円）
目　　的	図書館事業の推進に必要不可欠な図書ボランティアの養成、活動支援を行うことを目的とします。
事業内容	新規ボランティアの養成及び既存ボランティアの支援並びに嘉麻市図書ボランティア連絡協議会の活動支援を行っています。 ・読書ボランティアスキルアップ研修　・読書ボランティア養成講座 ・嘉麻市図書ボランティア連絡協議会（総会、研修会開催支援等）
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 講座受講者が、継続してボランティア活動に参加していただけるようなフォローアップの取り組み及び支援が必要です。また、長期的な読書活動の推進のために、新規ボランティアの養成が必要です。 **【課題等への取り組み】** 市民からの要望により、おはなし会で使用するパネルシアターの制作講座を行いました。また、子育て世代が参加しやすいように託児を準備しました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】

子どもの読書活動を促進するためには、地域のボランティアの協力が欠かせませんので、必要性はＡ評価としました。また、今回の講座終了後、受講生１０名でパネルシアターの作成及び実演の自主サークルを立上げ、活動が始められました。その活動によって、おはなし会では多様で魅力的なプログラムの提供が可能となりましたので、効果はＡ評価としました。

今回の養成講座については、図書館職員が講師となり指導を行うことで報償費を縮減することができましたので、効率性についてもＡ評価としました。

今後の方向性	今後も各種事業を行うことで、既存ボランティアのスキルアップを促すとともに、新規ボランティアの養成を図ります。読書ボランティアと図書館との協働を進め、地域に根ざした図書館運営を目指します。
平成 29 年度の課題	より多くの方に参加していただけるよう、事業の周知方法の工夫や魅力的な講座内容を検討し、若い世代の方に参加していただけるような取組及び支援が必要です。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題５　体力及び運動能力向上の推進

（１）スポーツによる地域の活性化

事 業 名 （予算/決算）	［５４］スポーツコミュニティ創造事業 （スポーツ推進課：プロジェクトＫ・スポーツ推進係） （予算：10,304 千円 / 決算：9,266 千円）
目　　的	スポーツと健康運動を通じて、市民一人ひとりの潜在的能力の向上を図るとともに、地域における市民の主体的な活動を促進し、地域力が向上することを目的とします。
事業内容	スポーツの社会的意義の重要性を広めるとともに、スポーツを通じた地域の主体的かつ継続的な取組みを促進するため次の事業を実施します。 ①スポーツ推進委員・指導者を派遣します。 ②スポーツに関する身近な情報を提供します。 ③スポーツサークルの設立を支援します。 ④誰もが参加できるスポーツ教室を開催します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** スポーツ推進委員や地域活動指導員の派遣による運動指導は、学童保育所出前講座や健康運動教室等の実施により、子どもから高齢者まで受講者の増加が図れていますが、地域における市民の主体的な活動の支援については、十分な支援ができている状況ではありません。モデル地区を指定し、スポーツを通じた活性化事業を試行し、地域住民や市関係各課の役割を検証することが必要です。 **【課題等への取り組み】** 鴨生地区をモデル地区として、スポーツを通じたコミュニティの活性化事業を実施しました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

地域コミュニティの繋がりの希薄化の進行が問題とされる中で、コミュニティの活性化のためのツールとしてスポーツへの期待が高まっています。国や福岡県のスポーツに関する計画においても、スポーツによる地域社会の再生が重要施策として位置づけられていますので、事業の必要性はＡ評価としています。

スポーツ推進委員や地域活動指導員による運動指導については、学童保育所出前講座や健康運動教室などの実施により、延べ 1,960 人の市民に対して運動指導が実施できました。今年度から産後の母親を対象にした教室を開始し、子育て世代の参加者の拡充も図ることができました。鴨生地区へのスポーツを通じたコミュニティ活性化事業については、年４回試行し６０人が参加しました。目的である地域における市民の主体的な活動の支援については、試行のみであるため事業効果・効率性はＢ評価としています。

今後の方向性	地域の主体的なスポーツ活動を促進し、地域コミュニティの活性化を目的として、引き続き広報嘉麻とスポーツ推進課ホームページを活用し、スポーツの魅力を伝えるとともに、スポーツ推進委員と地域活動指導員の指導スキルの向上を図りながら、より地域に密着した取組みを展開します。
平成 29 年度の課題	スポーツを通じたコミュニティ活性化事業は、講座の回数や内容など支援内容の枠組みを定め、生涯学習課や高齢者介護課と連携した事業を展開していく必要があります。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（Ａ）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題５　体力及び運動能力向上の推進

（１）スポーツによる地域の活性化

事 業 名 （予算/決算）	［５５］スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援事業 （スポーツ推進課：施設管理運営係） （予算：個別予算なし ／ 決算：－）
目　　的	スポーツに関係する多くの人が嘉麻市を訪れ、スポーツを行い、観るとともに地域の人々と交流し、本市の豊富な自然環境と観光資源に触れ、親しんで帰ってもらうことで、地域活性化につなげることを目的とします。
事業内容	スポーツ大会やスポーツ合宿の機会を活用するため、関係機関と連携して特産品販売などＰＲの場を設け、交流人口の増加と地域の活性化につなげます。また、大会の支援を行い、市民の運営や企画への参加を促します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 大会開催時の宿泊施設、食事等の確保、特産品販売等、関係機関と連携した取り組みと、大会実行委員会の活性化を図ることが必要です。 **【課題等への取り組み】** スポーツ大会及び合宿等の開催の際に、地元の宿泊施設の利用やお弁当の斡旋を行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】

スポーツイベントの開催や大会などの誘致や支援を行うことによって、市民に「観る」スポーツの楽しさを提供し、スポーツへの関心、理解を深めスポーツに参加する契機となる役割を果たす必要性の高い事業です。また、スポーツ施設を活用し、市内の宿泊施設と連携したスポーツ合宿を誘致することにより、地域に経済波及効果をもたらし、スポーツを通した地域づくり、地域の活性化が図られる効果が期待できます。

平成２８年度は、フットサル県リーグ、アビ・ギラフットサル筑豊大会、マーチング・バトントワリング福岡県大会等のスポーツ大会の開催、陸上、サッカー、ハンドボール、バドミントンの合宿等を誘致した結果、誘致による交流人口は 16,771 人となり目標の 7,000 人を大きく上回りました。

今後の方向性	スポーツ大会や合宿等の誘致を行うことで、市民のスポーツ観戦・参加の機会を増やすこととあわせて、スポーツイベント時を活用したお弁当や特産品販売などＰＲの場を設け、多くの交流人口の創出を図ります。
平成 29 年度の課題	交流人口の増加のため、スポーツ大会及び合宿誘致の各団体への働きかけとあわせて、ホームページなどを利用して広く情報提供を行う必要があります。

【評価委員の意見】

・２５年の歴史をもつ「かほ夢運ナイトハイク」が、本年をもって終了するとのことです。市内外から参加者が 1,000 人を超える事業なので、市と体育協会でなんとか維持できればと思います。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題５　体力及び運動能力向上の推進

（２）スポーツ環境の整備

事 業 名 （予算/決算）	［５６］スポーツ環境創成事業 （スポーツ推進課：プロジェクトＫ・スポーツ推進係） （予算：１２千円 / 決算：０千円）
目　　的	家庭や学校、自然の中など身近な場所での運動を進め、「市内のいたるところがスポーツ環境であること」という意識改革を目的とします。
事業内容	自然豊かで文化性に満ちた市内の環境を再発見するとともに、ジョギング、ウォーキングなどの手軽な運動に最適な運動環境を整備し、情報提供を行うことで市民の利用を促進します。 また、子どもの成長を促し心に刺激を与えるような環境づくりを目指し、全国でも例のないアイデアに満ちたスポーツ環境施設を創成します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 市民が気軽に運動ができるよう、市内の社会体育施設や歴史・文化資産、自然環境を連結したウォーキングコースを作成し、イベントを実施してきました。イベントに参加された市民が継続的に運動できるよう、また新たに運動を始めようとする市民が増えるよう、引き続きコースの増設を図り、広報やホームページを活用した情報提供の充実を図ることが必要です。 **【課題等への取り組み】** 社会体育施設や歴史・文化施設と地域の自然環境を有機的に結合したウォーキングコースを新たに作成し、ウォーキングイベントを実施しました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

アンケート調査の結果から「スポーツをしていない」と回答した３割の市民の内、５割は「時間不足」、３割は「機会不足」と回答しています。また、社会体育施設の利用者の固定化を解消するためにも、身近な場所で簡単に行える運動の機会の提供は重要であり、必要性はＡ評価としています。

今年度は山田地区の大法白馬山トレッキングコースを作成し、イベントを実施しました。文化財係と連携を図り、文化資産の説明を交えたトレッキングイベントが実施できましたが、市民が気軽に継続してウォーキングができるよう引き続き情報提供など対策が必要であり、事業の効果・効率性はＢとしています。

今後の方向性	社会体育施設や歴史・文化資産と自然環境を有機的に結合することにより、新たなスポーツ環境を発掘し、身近な場所で簡単に行える運動の機会を提供するため、引き続きウォーキングコースやジョギングコースを作成し、イベントの開催や情報の提供を行います。
平成 29 年度の課題	市民が気軽に継続してウォーキングができるよう、ウォーキング・ジョギングコースの増設を行うとともに、社会体育施設内においてもウォーキング等ができるよう案内看板の設置など情報提供の充実を図ることが必要です。

【評価委員の意見】

・嘉穂アルプスとの連携した取組みをぜひお願いします。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題５　体力及び運動能力向上の推進
（２）スポーツ環境の整備

事 業 名 （予算/決算）	［５７］社会体育施設管理運営事業 （スポーツ推進課：施設管理運営係） （予算：213,443 千円 / 決算：201,268 千円）
目　　的	市民のニーズに応じた、より快適なスポーツ活動の場を提供することを目的としています。
事業内容	スポーツ施設の効果的かつ効率的な管理運営と、市民ニーズに対応するため施設の整備などの検討を行い、適正化を図ります。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 老朽化している施設について、施設の利用状況等を勘案しながら効率的な補修・改修を行っていくことが課題です。 **【課題等への取り組み】** 用途廃止を行った稲築スポーツプラザ解体撤去工事やサルビアパーク中央監視装置更新工事、稲築屋内球技場の扉改修工事等市民のニーズに応じた施設の補修・改修を行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
体育施設の管理・運営を行うことは、市民の健康増進、スポーツ活動の拠点施設として、そして、スポーツによる多くの交流人口を生み出すものとして必要性の高い事業です。平成２８年度体育施設の利用者数は 440,291 人と目標の 398,000 人を大きく上回りました。
課題である老朽化した施設の管理については、休止していた稲築プール、鴨生公園内テニスコート、山野運動公園内テニスコート、碓井青少年センター、嘉穂プール、嘉穂テニスコートの６施設を用途廃止、平成２７年度に用途廃止した稲築スポーツプラザの解体撤去を行いました。施設の補修・改修については、施設全体が老朽化していることから、利用状況等を踏まえながら適切に行っていく必要があります。

今後の方向性	既存施設の適切な補修・改修、効率的な運営を行い、市民が身近に運動・スポーツを行なえる場所や機会を提供することで、市民の健康増進を図っていきます。
平成 29 年度の課題	老朽化に伴う施設の補修・改修にあわせて、老朽化した施設の設備についても適切な取替・補修を行っていく必要があります。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題５　体力及び運動能力向上の推進

（３）生涯スポーツの推進

事 業 名 （予算/決算）	［５８］プロジェクトＫ事業 （スポーツ推進課：プロジェクトＫ・スポーツ推進係） （予算：4,288 千円 / 決算：3,141 千円）
目　　的	乳幼児から高齢者、障がい者に至るすべての市民を対象に、脳科学、認知科学などに基づいたコオーディネーショントレーニングを導入することにより、体力・運動能力の発達だけでなく、知的能力の発達、情緒的な安定や創造性豊かな人格形成等を図ることを目的とします。
事業内容	すべての市民に対応できるコオーディネーショントレーニングのプログラムを構築し、その普及を行います。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 私立保育園及び幼稚園は、運動指導にかかる経費の財政支援を行い、小学校はスポーツ推進課職員による運動指導を実施し、乳幼児及び児童に対するトレーニングの普及を行ってきました。また、保育士や教員が日常の指導現場でトレーニング指導ができるよう指導者用ＤＶＤの配布や研修会の充実も図ってきました。今後も保育士や教員、障がい者施設や高齢者介護施設などの職員が日常の指導現場でトレーニング指導ができるよう、更なる指導者の育成や啓発が必要です。 **【課題等への取り組み】** 荒木教授による指導者研修会は、スポーツ推進委員や保育士、小学校教員を対象とした研修会のほか、高齢者関係職員や競技スポーツ指導者を対象にした研修会も開催し、指導者の育成や啓発を図りました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】

本事業はコオーディネーショントレーニングを全ての市民に普及することにより、人材育成、さらには地域の活性化に繋げる全国でも類を見ない取組みです。特に子どもに対する教育施策の充実は、過疎化が進む本市において、定住人口の増加を目指す上で最重要事項ですので、事業の必要性はＡ評価としています。

今年度は全公立保育所と私立保育園・幼稚園１２園中９園、全小学校がトレーニングを実施しており、トレーニングの普及も順調に進んでいます。指導者の育成と啓発については、市内研修会に延べ３２５人、徳島大学内研修に８人が参加し、指導者の育成と普及啓発を進めました。したがって、事業の効果・効率性についてもＡ評価としています。

今後の方向性	引き続き指導者の育成・スキルアップを図りながら、保育施設や小学校、中学校、高齢者、障がい者に対してコオーディネーショントレーニングの普及に取り組みます。
平成 29 年度の課題	平成２９年度もコオーディネーショントレーニングの更なる普及のため、保育士や教員、障がい者施設、高齢者介護施設などが日常の指導現場で、トレーニング指導ができるよう、更なる指導者の育成や啓発が必要です。

【評価委員の意見】

・頑張ってほしいです。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題５　体力及び運動能力向上の推進

（４）競技スポーツの推進

事 業 名 （予算/決算）	［５９］競技スポーツ推進事業 （スポーツ推進課：プロジェクトＫ・スポーツ推進係） （予算：7,930 千円 / 決算：7,520 千円）
目　　的	誰もが、自らの目標に即してスポーツ競技力を伸ばそうとするスポーツ文化を広めるとともに、小・中・高校生からの優れた体力・運動能力、さらには運動学習能力、潜在的能力を豊かに伸ばしていくことを目的とします。
事業内容	・公的な各種スポーツ競技大会を開催します。また、子ども達を対象に、普段、経験したことのないスポーツ体験会を開催します。 ・スポーツに関心を寄せ、楽しさを見い出すトップアスリートとの交流会を開催します。子ども達のタレント発掘と競技力育成に関わる事業を展開し、全国や世界で活躍できるスポーツ選手の育成に取組みます。 ・スポーツ指導者、スポーツ推進委員、教員、保育士、一般市民を対象にした身近なスポーツ科学、運動科学、栄養学、コオーディネーショントレーニングなどに関する学習会、研修会を開催します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 本市の競技スポーツの現状は、中学・高校の部活動のほか、嘉麻市体育協会に加盟する各種競技団体などがスポーツの振興と競技力の向上に取り組んでいます。体育協会へは補助金を交付し加盟団体の大会や教室などの事業を財政支援しており、その他、嘉麻シティマラソンやふくおか子ども駅伝大会に対しても補助金を交付し財政支援を実施しています。今後も競技人口の増加を目指し、競技スポーツへの関心を高めることが必要です。 **【課題等への取り組み】** 競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによるスポーツ教室を開催しました。

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】

本市出身の市民が全国などの舞台で活躍することは、多くの市民に夢や感動、誇りと勇気を与え、市民のスポーツへの関心や参加意欲を促し、市のスポーツ振興に大いに貢献するものと考えられます。同時に、スポーツを行う人々が、自らの限界に挑戦し、努力と工夫によって競技力を高めることは、スポーツ文化を広め豊かなコミュニケーション社会を育む重要な取組みですので、事業の必要性はＡ評価としています。

今年度は、プロバスケットボールの橋本選手によるバスケットボール教室のほか、元ソフトバンクホークスの柴原選手による野球教室を開催し、約１３０人の小中学生が参加しました。トップアスリートの技術や経験を目の当たりにすることができ、競技スポーツの関心を高めることができましたので事業効果・効率性もＡ評価としています。

今後の方向性	競技人口の増加を目指し、市民のスポーツへの関心や参加意欲を高める事業を推進するとともに、子どもの競技力向上を目指した事業を推進します。
平成 29 年度の課題	市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる研修会を開催します。また、小学校低学年を対象とした荒木教授のスポーツコオーディネーショントレーニングの教室や研修会を行い、子どもの競技力向上に向けた事業を推進します。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題６　人権尊重精神を育成する教育の推進

（１）学校教育における人権・同和教育の推進及び支援

事 業 名 （予算/決算）	［６０］人権・同和教育推進事業　（学校教育課：教務係・指導係） （予算：個別予算なし ／ 決算：－）
目　　的	福岡県人権教育・啓発基本指針及び嘉麻市人権教育・啓発基本指針に基づき、学校教育活動全体を通して、児童生徒が共生の心を身につけるとともに、自分らしさや能力を十分に発揮し、人権問題を主体的に解決していく力を身につけることができるよう指導していきます。
事業内容	学校における人権教育の指導の充実を図ります。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 人権課題の解決に向け、児童生徒が自分で「感じ、考え、行動する」主体的・実践的な行動をとることができるよう、組織的・継続的な人権・同和教育の推進体制を確立する必要があります。 **【課題等への取り組み】** 単なる知識に止まらず、より児童生徒に主体的な学習を可能にするために家庭・地域・関係機関の人々をはじめ多くの人々と連携をとり、児童生徒の発達の段階に応じた系統的な取組みが推進されるように校内研修を実施しました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

各学校で、計画的に校内研修を実施することができました。平均して年間 10 回程度の実施となっています。内容としては、同和問題、いじめ問題、障がい者差別、ＬＧＢＴ、実践交流会、配慮の必要な児童生徒についての交流、学習・人間関係・環境づくり等、多岐にわたっています。

また、学習活動では、人との出会いやふれあい活動を大切にした実践が多く取り組まれています。

今後の方向性	人権課題の解決に向け、児童生徒が自分で「感じ、考え、行動する」主体的・実践的な行動をとることができるよう、教育課程の工夫を行います。
平成 29 年度の課題	教職員の認識を深める研修と教育活動における具現化を推進します。郷土を愛する人材育成の取組みと並行して、見直しを図ります。

【評価委員の意見】

・ここでは具体的な差別の問題について指摘がなく、一般的な形でしか触れられていないことに疑問を感じます。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題６　人権尊重精神を育成する教育の推進

（２）社会教育における人権・同和教育の推進及び支援

事 業 名 （予算/決算）	［６１］人権学習推進事業　（生涯学習課：人権・同和教育係） （予算：2,416 千円 / 決算：2,410 千円）
目　　的	同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障がい者、アイヌの人々、外国人、ＨＩＶ感染者、性的少数者等に対する人権課題を解決し、人権尊重社会の実現に向け、嘉麻市人権教育・啓発基本方針に基づき、社会教育における人権・同和教育を一層推進するとともに、市内の各種団体等の協力を得ながら、行政区単位地域研修会、団体・サークル等研修会、企業内人権・同和問題研修会を実施します。また、関係行政機関及び地域活動指導員（人権・同和教育指導員）との連携を行い、社会教育における人権に関する学習を推進します。
事業内容	嘉麻市の人権・同和教育の推進を図るため、市内各行政区をはじめ、団体・サークル等、企業や市職員の人権・同和問題研修会の開催を推進し、人権・同和問題に関する意識の向上を図っています。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 研修会は行政区や各種団体等の希望により開催しているため、開催希望が少なく、また固定化している状況であり、継続して研修会の周知が必要です。 **【課題等への取り組み】** 各種団体等に研修会の趣旨を説明し、理解と協力を得て研修会を実施するとともに、毎年研修会を実施して頂いている行政区については、引き続き依頼を行い、研修会を実施しました。また、研修会の開催方法等についての検討を行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

地域研修会においては、平成２７年度１１回から平成２８年度１０回に減りましたが、継続して取り組まれている行政区もあり、人権意識の向上に繋がっています。行政区においては、定期的に役員の改選などがあるため、引き続き研修会の趣旨なども丁寧に説明を行います。

また、企業・団体・サークル等の研修会では、９団体から１０団体に増やすことができました。今後も、各種団体等と連携を図りながら、同和問題のみならず、研修を受ける側のニーズにも対応できるようにスキルを磨いていき、充実した研修を提供していきたいと考えています。

事業主研修会については、一昨年から入札参加における経営事項審査に地域貢献活動評価項目を取り入れたこともあり、平成２７年度１００名から、平成２８年度１２３名に参加者を増やすことができました。今後も地域貢献活動評価項目を活用して人権・同和教育啓発を推進していきます。

今後の方向性	一人ひとりが同和問題をはじめとする様々な人権問題についての正しい認識と理解を深め、自らの問題として捉えることのできる視点を持ち、行動するための気づきに繋がるような研修会を開催し、人権教育・人権啓発の推進を図ります。
平成 29 年度の課題	現在開催している研修会に加え、各地区公民館で研修会を開催するなど、人権・同和問題について学ぶ機会を充実させる必要があります。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題６　人権尊重精神を育成する教育の推進

（２）社会教育における人権・同和教育の推進及び支援

事 業 名 （予算/決算）	［６２］解放子ども会育成事業　（生涯学習課：人権・同和教育係） （予算：5,766 千円 / 決算：5,322 千円）
目　　的	解放子ども会を開催し、解放子ども会に参加する一人ひとりが、人権問題について正しい認識と理解を深める活動を推進します。また、学校教育や社会教育との連携や交流を促進し、情報の共有を図ります。合宿研修会の開催により、小中学生が寝食、学習、野外体験活動を共にすることで、連携や交流を促進します。
事業内容	稲築・碓井地区において解放子ども会を開催し、人権・同和問題についての学習を行うとともに、嘉麻市解放子ども会として合宿研修会や発表会等に取組んでいます。 （１）解放子ども会の開催 （２）解放子ども会合宿研修会の開催 （３）解放子ども会社会見学会の開催 （４）解放子ども会フィールドワークの開催 （５）解放子ども会発表会の開催
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 解放子ども会に参加する児童生徒を増やす取組みは、継続して行う必要があります。 **【課題等への取り組み】** 解放子ども会指導者連絡協議会等で、参加者を増やすための取組み等について継続して協議しました。個人情報の関係もあり、新規参加者の把握が厳しい状況の中で、地区指導者や参加している児童生徒の保護者から、引き続き解放子ども会のお知らせと参加の声掛け等を行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

小学校７学級、中学校６学級の解放子ども会を開催するとともに、小学校ではリーダー会、中学校では隣保館学習、さらに合宿研修会、社会見学やフィールドワークを行ないました。活動を通じて人権・同和問題について正しい認識と理解を深め、仲間づくりや基礎学力の向上を図ることができました。また、解放子ども会発表会においては、1 年間の総括を行いながら、次年度の学習に繋げる振り返りの場を設けました。

今後の方向性	人権・同和問題について正しい認識と理解を深め、差別を見抜き、差別に立ち向かうことができる児童生徒の育成を図るため、継続して解放子ども会を開催します。また、解放子ども会の卒業生をはじめとする地区指導者と一体となった活動を行い、地域・家庭との連携を図ります。
平成 29 年度の課題	児童・生徒が減少していく中で、実施方法等の検討を継続して行う必要があります。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題６　人権尊重精神を育成する教育の推進

（２）社会教育における人権・同和教育の推進及び支援

事 業 名 （予算/決算）	［６３］解放学級育成事業　（生涯学習課：人権・同和教育係） （予算：1,476 千円 / 決算：1,321 千円）
目　　的	解放学級及び日常生活で文字の読み書きに不自由している人々を対象にした識字学級を開催し、解放学級生及び識字学級生一人ひとりが、人権問題について更なる正しい認識と理解を深める事業を推進します。
事業内容	稲築・碓井・嘉穂地区において、解放学級を開催し、人権・同和問題についての学習を行うとともに、碓井地区においては、識字学級を開催することにより文字の読み書き学習を支援しています。 （１） 解放学級等合同開講式の開催 （２） 解放学級・識字学級の開催 （３） 解放学級等合同学習会の開催
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 識字学級で学んでいる在日外国人については、生涯学習課内において、日本語学級等の開設を検討するとともに、現在の学びの場である識字学級との連携・交流を行うなどの運営方法等についての検討も必要です。 **【課題等への取り組み】** 日本語学級の開設に向け、課内で検討・協議を行い、中央公民館係の事業として開催する方向で、さらに問題点等について検討・協議をしているところです。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

解放学級８学級及び識字学級を開催することで、学級生一人ひとりが、人権・同和問題について更なる正しい認識と理解を、より深めることが出来ました。さらに、学級間の交流会を開催したことで、お互いの理解と心の繋がりを深め、共に学びを深める大切さを認識することができました。また、学級によっては、参加者が少ないところもあり、若年層への参加の呼びかけも行いましたが、残念ながら新規参加には繋がりませんでした。今後も引き続き若年層に呼びかけていきたいと思います。識字学級生においては目標をもって学ぶとともに、他の自治体の識字学級生と交流を行うことで学びを深めることの大切さを再確認しました。

今後の方向性	解放学級及び識字学級では、同和問題をはじめとする様々な差別の解消に向けて、地域住民の自主的・主体的な学習活動を学校と協力してサポートします。また、多様化する人権・同和問題についての正しい認識と理解を深めるための学習等を支援します。
平成 29 年度の課題	学級生の自主的・主体的な学習活動を支援できるように、今後も運営委員間の連携を図る必要があります。また、時代と共に様々な人権・同和問題も発生しており、引き続き指導者としてのスキルアップを図る必要があります。

【評価委員の意見】

・研修の中身については、担当課の皆さん方に一緒に考えてほしいと思います。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題７　市民文化の創造

（１）美術に関する創造的活動の推進

事 業 名 （予算/決算）	［６４］文化芸術活動推進事業　（生涯学習課：美術館係） （予算：個別予算なし ／ 決算：－）
目　　的	市民が美術館を身近なものに感じ、美術館で文化芸術を鑑賞・創作する機会及び展示発表に活用できる場の充実を図ります。
事業内容	美術団体など主体的な活動を行う団体と連携協力を図り、市の文化団体などの展示活動への協力、支援を行います。 また、サークル等のアトリエでの創作活動を支援するとともに、子どもたちに芸術鑑賞の機会を提供します。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 子どもたちが感性を磨き、考える力、表現力などを学ぶ機会の充実を図るため、美術館と学校等との双方向の交流（鑑賞などでの活用の支援や出張美術館）を活性化する必要があります。 **【課題等への取り組み】** 学校が鑑賞での活用を計画できるように、美術館の利用の仕方を記載したチラシを作成し、校長会で説明を行いました。 「嘉飯山の画家たち展」の関連事業として、市内中学校の２年生及び３年生への延べ９クラス（計３回×３クラス）へ出前授業を行いました。 ・実施校：嘉麻市立嘉穂中学校

事務局自己評価

【評価項目】	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】

嘉麻市文化協会など関係団体や地区公民館と連携して、展示活動への協力、支援を行いました。

アトリエは、年間を通して学びの場として活用が図られています。

市内小中学校１３校中５校の美術館活用がありました。

展示室５については、嘉麻市文化協会など１１団体による展覧会などの活用がありました。市が共催している展覧会については、展示方法等についてアドバイスを行いました。また、５団体が継続してアトリエでの学習活動を行っています。

今後の方向性	今後も主体的、自主的に文化芸術活動を行うサークルや団体を支援し、子どもたちの芸術鑑賞の機会の充実を図ります。
平成 29 年度の課題	子どもたちが感性を磨き、考える力、表現力などを学ぶ機会の充実を図るため、美術館と学校等との双方向の交流（鑑賞などでの活用の支援や出張美術館）を活性化する必要があります。

【評価委員の意見】

・美術館の活動が、地域に根差す上で大きな役割を果たしていくと思いますので、地道な取組みですが、頑張ってほしいです。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（B）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題７　市民文化の創造

（１）美術に関する創造的活動の推進

事 業 名 （予算/決算）	［６５］美術館運営管理事業　（生涯学習課：美術館係） （予算：44,700 千円 / 決算：44,363 千円）
目　　的	市民が文化芸術活動や憩いの場として、美術館及び公園を快適かつ安心して利活用できるよう、施設等の維持管理及び運営を行うとともに、美術館並びに実施事業の周知を図ります。
事業内容	美術館及隣接する公園の維持管理を図るとともに、適切な環境の中で収蔵、展示作品の保存管理を行います。
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 経年劣化による建物及び設備の修理等が予想されるため、計画的に行う必要があります。 **【課題等への取り組み】** 計画に基づき、空調設備の中央監視装置等の更新や冷却塔バルブの取替を行いました。 美術館浄化槽のブロワー及び制御盤マグネット修理を行いました。 取付け道路脇の樹木剪定を行い、見通し良くしました。 適切な環境で作品保管のため収蔵庫３の燻蒸を行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】

美術館の空調設備の年次計画の修理や浄化槽の修理、清掃、空調、消防設備、自動ドア、電気工作物保安業務等を継続実施することで、来館者に対し、安全で快適に美術館の利活用に努めることが出来ました。また、清掃、芝・草刈り等、公園の維持管理を継続することで遠足や家族等の利用や事業等で活用しました。

広報やホームページ、ＳＮＳ等でいち早く情報提供が出来ました。

筑豊美術館ネットワーク事業として織田廣喜美術館で「逸品もちより展」を開催しました。

今後の方向性	美術館及び隣接する公園を様々な人々が快適かつ安心して利活用出来るよう、施設等の維持管理を継続して行います。 広報や、ホームページ等を活用し情報提供に努めます。
平成 29 年度の課題	今後も計画的かつ継続して施設等の修理を含めた維持管理を行う必要があります。

【評価委員の意見】

・交流展の実行委員会として、館内の照明の改善をしていただき、感謝しています。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題７　市民文化の創造

（１）美術に関する創造的活動の推進

事業名 （予算/決算）	［６６］企画展事業　（生涯学習課：美術館係） （予算：7,714 千円 ／ 決算：7,120 千円）
目　　的	著名な作家や郷土ゆかりの作家の作品展示及び優れた芸術作品の鑑賞機会を提供することにより、こころ豊かな感性を育み文化の向上を図ります。
事業内容	開館２０周年記念事業、県展筑豊展、館蔵品展など７展を開催しました。 「春のコレクション展２０１６」　４月　１日～　４月１７日（15 日間） 「第１２回嘉飯山の画家たち展」　７月　２日～　７月３１日（26 日間） 「建築家　徳岡昌克展」　８月　６日～　９月　４日（26 日間） 「石川えりこ原画展　あのころ」　９月１０日～１０月１０日（26 日間） 「第７２回福岡県美術展覧会筑豊展　１１月　１日～１１月２０日（18 日間） 「第２回逸品もちより展」　１２月１０日～　１月２９日（37 日間） 「春のコレクション展２０１７」　３月　２日～　３月３１日（26 日間）
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 高齢化が進む嘉飯桂地域の作家の活動リサーチを日常的に行う必要がありますが、飯塚都市圏のギャラリーなどの閉鎖により個展等の活動が減少しており、作家のリサーチが行いにくくなっています。 **【課題等への取り組み】** 専門職である学芸員の配置により、所蔵品をはじめ地域の作家の調査、研究の学芸業務全般を専門的知識にておこない、コレクション展や新聞などへの執筆を行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】

隔年開催の「嘉飯山の画家たち展」では、外部の意見を基に出品作家選考委員会が選定した２５名の画家の作品５８点を展示しました。

開館２０周年記念事業として開催した「建築家　徳岡昌克展」では徳岡昌克がこれまでに手掛けてきた建築作品を写真や模型などの資料と実際の図面にて展示構成し紹介しました。

同じく開館２０周年記念事業として開催した「石川えりこ原画展」では、絵本作家石川えりこの最初期から近年までのイラスト、挿絵、絵本の原画など約２５０点を展示、公開し、嘉麻市出身の絵本作家を顕彰しました。

今後の方向性	織田廣喜をはじめ地域に縁ある作家の調査・研究を継続して行い、その成果を展覧会などで情報提供することで地域文化の向上を目指します。
平成 29 年度の課題	開館２０周年事業を終え、今後の中期、長期的な事業の計画を立てることが必要です。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題７　市民文化の創造

（１）美術に関する創造的活動の推進

事 業 名 （予算/決算）	［６７］美術教育普及事業　（生涯学習課：美術館係） （予算：５０８千円 / 決算：５０１千円）
目　　的	楽しみながら創作活動を行う機会や場の提供を行い、芸術への興味を深め豊かな感性と表現力を育むことにより、美術教育の充実を図るとともに、子どもたちの美術活動の充実と､美術館の活動に関わる美術館ボランティアの人材育成を図ります。
事業内容	①年２回のボランティア会議（登録者１０名）と学習会を開催し、小学生対象の講座で、講師の補助や事業のサポートを行いました。 ②４講座を開設しました。（大人：２講座、子ども２講座） ・日本画教室　１６回　１８歳以上　受講者２４名 ・体験講座（篆刻体験）　３回　中学生以上　受講者２５名 ・アートキッズ　１６回　小学生　受講者３０名 ・わくわくアトリエクラブ　２回　４歳児～小学生とその保護者　受講者１４組 ③その他、依頼に応じた事業を実施しました。 ・飯塚小学校親子ふれあい会（３年生とその保護者が参加）（　６月） ・子育て支援センター るんるん教室（１～３歳児とその保護者が参加）（１０月） 美術館内見学、親子でフィンガーペイント体験 ・ＭＯＡ美術館嘉飯桂児童作品展での作品解説（来場者対象）（１０月） 美術館内で「紅白梅図屏風」レプリカの展示、解説 ・子どもフェスタで美術館教育普及事業の紹介､お絵描きコーナー設置（　２月）
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 自宅で課題が出来ない受講生ややむを得ず休んだ受講生に対して、アトリエを開放するなど充実した講座内容となるよう、講座開設方法について検討する必要があります。 **【課題等への取り組み】** 自宅で課題が出来ない受講生ややむを得ず休んだ受講生に対して、アトリエを講座終了後も時間帯を決めて開放し、学習、創作の場所を提供しました。 講座の開催日程については、学校行事や課内事業計画にも配慮し、再度、検討を行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】

ボランティア会議で活動に対する意見交換を行うことが出来ました。

受講生が交流を深め、共に学び、公私に渡り親交のある仲間づくりが出来ました。

新聞やケーブルテレビの取材は、受講生の創作意欲を高めるとともに事業の周知となり、講座に関する問い合わせや、見学希望者も増えました。

講座後に、企画展を観に再度美術館に来館される方やサークルを見学に行く方など、創作活動へ興味を持つきっかけづくりが出来ました。

今後の方向性	様々な芸術体験の機会を提供し、創作活動の中で芸術への興味を深め、豊かな感性と表現力を磨き、心豊かな人材を育みます。また、ボランティアの活動内容の明確化とボランティア相互の連携を図り、円滑な講座運営に繋げます。
平成 29 年度の課題	近隣の高校や大学に働きかけ、ボランティアの増員を目指します。また、充実した講座内容となるよう、講座開設方法について検討する必要があります。

【評価委員の意見】

・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題７　市民文化の創造

（２）文化財の保護・継承・活用

事 業 名 （予算/決算）	［６８］文化財保護事業　（生涯学習課：文化財係） （予算：7,777 千円 / 決算：7,082 千円）
目　　的	市内に残る多様な文化財を郷土の「たから」として後世に伝え、適切な活用が図れるように、文化財の保護管理に努めることを目的とします。
事業内容	・文化財保護審議会の運営 ・指定文化財等の維持管理 ・指定文化財への補助金交付 ・埋蔵文化財の事前審査 ・各種文化財の調査
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 地域、市民の「たから」として後世に受け継がれるよう、継続して指定文化財の維持管理を図るとともに、市内に残る多様な文化財の保護に努めます。 **【課題等への取り組み】** ・指定文化財の維持管理や補助金交付を継続し、文化財の保護に努めました。 ・埋蔵文化財の再整理（国庫補助事業）を継続して行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
・文化財保護審議会：年３回
・指定文化財等の維持管理：沖出古墳、鎌田原遺跡、千手川甌穴群、古高取山田窯の草刈り等
・指定文化財への補助金交付：山野の楽、平山の獅子舞、下臼井西の盆綱
・埋蔵文化財事前審査：書類審査１１４件、工事立会２件、試掘調査１件
・文化財の調査・整理：嘉穂地区遺跡群出土品及び写真・図面類の台帳整備
寒北斗酒造より寄贈を受けた古文書の調査・整理

今後の方向性	中長期的な視野に立ち適切な文化財保護を行います。
平成 29 年度の課題	未指定文化財に対する保護対策が今後の課題です。

【評価委員の意見】
・意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（Ａ）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題７　市民文化の創造

（２）文化財の保護・継承・活用

事 業 名 （予算/決算）	［６９］歴史民俗教育普及事業　（生涯学習課：文化財係） （予算：2,494 千円 / 決算：2,311 千円）
目　　的	市内に残る多様な文化財の活用を図り、郷土への誇りと愛着を培うとともに、郷土の歴史・文化のＰＲに努めることを目的とします。
事業内容	・沖出古墳特別公開（春・秋）:　４/１６・１７、１０/１５・１６ ・「語り、伝える 戦争の話」（第５回）:　８/６ ・歴史講演会「後藤又兵衛の出奔」:　６/２５ ・朗読音楽劇「青い目の人形によせて」: １２/１ ・団体、学校などへの学習支援、講師派遣等 ・筑豊文化財行政連絡協議会事業（広域連携事業）
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** イベントの広報方法や開催時期の見直し検討を行います。 **【課題等への取り組み】** 歴史講演会は他のイベントと重ならないよう、開催時期を検討しました。 広報はフェイスブックやホームページ、ポスター等で周知化を図りました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】

・沖出古墳特別公開　参加者：２７１名
・「語り、伝える　戦争の話」（第５回）　参加者：　７８名
・歴史講演会「後藤又兵衛の出奔」　参加者：１０７名
・朗読音楽劇「青い目の人形によせて」　参加者：　４５名
・学習支援・講師派遣　回　数：　２２件
・筑豊文化財行政連絡協議会　企画委員会開催数：　９回

今後の方向性	文化財保護事業とのバランスを考慮しながら教育普及事業を見直していきます。
平成 29 年度の課題	限られた組織体制の中で効率の良い事業運営を行っていくことが課題です。

【評価委員の意見】

・「平和の火」について、もう少し注目されていいと思いますので、周辺の案内図や説明、児童生徒に対する平和教育の教材として、ぜひ取り上げていただきたいと思います。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（A）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

■重要課題７　市民文化の創造

（２）文化財の保護・継承・活用

事 業 名 （予算/決算）	［７０］歴史民俗資料展示・保管施設の管理活用事業 （生涯学習課：文化財係） （予算：10,825 千円 / 決算：10,583 千円）
目　　的	効率的な施設運営を図り、学校教育及び社会教育並びに郷土の歴史・文化のＰＲに貢献することを目的とします。
事業内容	・歴史民俗資料展示・保管施設（４館２室）の維持管理 ・収蔵資料の台帳整備 ・収蔵資料の貸出 ・収蔵資料の模写等（画像資料の利用） ・寄贈資料の受け入れ
平成 28 年度の課題と取り組み	**【課題等】** 施設の効率的な運営と活用が出来るように資料の保管方法や施設の機能について検討します。また、収蔵資料の活用が図れるよう資料台帳の整備に努めます。 **【課題等への取り組み】** ・嘉穂ふるさと交流館の見直しに取り組みました。 ・碓井郷土館収蔵資料の台帳整備を継続して行いました。

事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
・歴史民俗資料展示・保管施設（４館）の利用者数：６７８１名
・収蔵資料の台帳整備：碓井郷土館収蔵資料（約１７００点）の台帳登録
・資料貸出件数：１２件
・資料模写等（画像資料の利用）件数：１８件
・寄贈資料件数：４件

今後の方向性	各施設の機能を明確化するために、施設全体の位置づけを検討します。
平成 29 年度の課題	利用頻度が低い資料室の見直しが今後の課題です。

【評価委員の意見】
・資料室の見直しについては、織田廣喜美術館周辺に集中して環境整備されればいいと思いますので、予算の問題もあると思いますが、検討してください。
・人材、予算ともに厳しい中、よくがんばっています。将来的に保管施設の確保が課題になると思います。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（Ａ）

Ａ：期待どおり、Ｂ：概ね期待どおり、Ｃ：課題あり、Ｄ：事業の見直し要

５．全体評価結果

(1)　全体評価結果

全体の評価結果については、事務局の自己評価と評価委員の意見を踏まえた教育委員会の評価結果は、下記のとおりとなりました。（全７０事業）

	前年度 教育委員会評価		本年度 教育委員会評価
Ａ：期待どおり	４２事業 (60.0%)	⇒	３８事業 (54.3%)
Ｂ：概ね期待どおり	２８事業 (40.0%)	⇒	３１事業 (44.3%)
Ｃ：課題あり	０事業 (0.0%)	⇒	１事業 (1.4%)
Ｄ：事業の見直し要	０事業 (0.0%)	⇒	０事業 (0.0%)

評価の方法は、昨年度同様に事業完了度ではなく、目標達成度及び第三者評価の観点から総合的に評価を行いました。また、今後の方向性及び平成２９年度の課題につきましても、あわせて検討いただきました。

前年度の評価と比べると、期待どおりの「Ａ評価」が 60.0%から 54.3%（5.7%の減）、概ね期待どおりの「Ｂ評価」が 40.0%から 44.3%（4.3%の増）、課題ありの「Ｃ評価」が０事業から１事業となり、事業の見直し要の「Ｄ評価」はありませんでした。しかしながら、昨年度に比べてＡ評価の事業が減少していることから、今後もＢ評価の事業をＡ評価にするため、課題解決を図り、事業を効果的かつ効率的に進めていく必要があります。

(2)　重要課題ごとの評価及び課題

■重要課題１　少人数指導等による学力向上

「少人数指導推進事業」の取組みにより、小学校において、標準学力検査（ＮＲＴ）における平均偏差値は、平成２６年度以降は標準偏差値５０を上回り、上昇しています。中学校においても、標準学力分析検査の結果は年々上昇しており、標準偏差値に対して「－2.7」にまで差を縮めました。また、全国学力・学習状況調査においては、全国平均正答率を上回る学校は、小学校１校、中学校１校でしたが、平成２２年度以降すべての教科区分で数値が上昇し、その差を縮めています。しかしながら、学校間や学年間、学級間の格差がみられることから、今後は、その要因分析に努め、教員のさらなる実践的指導力の向上を図っていく必要があります。

「嘉麻市学力向上強化プロジェクト事業」においては、学力向上推進員の学校への指導及び支援体制を継続していきます。また、嘉麻市土曜未来塾では、通塾したすべての児童生徒が「勉強がわかるようになった」と答えるなど、その成果は一人ひとりが確実に実感しています。今後も、児童生徒のさらなる参加を促すとともに、個に応じた支援により、学力の基礎基本の定着と家庭学習の習慣化を図ります。

■重要課題２　個性又は能力を育成する学校教育の充実

「特別支援教育総合推進事業」や「補助教員配置事業」については、適切な人員配置により、児童生徒の教育的ニーズに応じた支援や指導が図られています。今後ますますその必要性が増えていくことが予想されますので、配置した人員の効果的な活用について工夫していくとともに、個別の教育支援計画及び指導計画に基づき、通常学級と支援学級との連携した支援の充実を図る必要があります。

「情報教育推進事業」では、ＩＣＴを活用した授業改善や教職員の情報活用能力の向上が図られてきました。今後さらに増加するネット犯罪等から児童生徒を守るために、インターネットやＬＩＮＥなどのＳＮＳ（ソーシャルネットワーキングサービス）の適切な利用方法の指導を充実する必要があります。

「大規模改造工事事業」では、安心・安全な教育環境整備のため、平成２６年度から実施してきた山田中学校の大規模改造工事が完了しました。また、稲築東小学校では非構造部材の耐震化改修を行い、安全性の向上を図りました。今後も、児童生徒が安心･安全な環境において生活（学習）ができるよう大規模改造工事を計画的に実施していきます。

■重要課題３　豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

不登校問題等の解決に向けた体制の充実を図るため、「教育相談推進事業」や「学校支援相談員配置事業」を実施し、不登校傾向の児童生徒に対する早期対応や関係機関との連携協力による組織的な取組みにより、不登校の児童生徒数は、平成２７年度が５２名で、平成２８年度は４９名と減少傾向にあります。今後も関係機関との連携を強化し、不登校問題の解消に努めていきます。

また、「適応指導教室（れすとぴあ）推進事業」では、通級生徒全員が学校への復帰はできませんでしたが、中学３年生の通級生徒は全員が高校（通信制含む）へ進学できました。このことからも、不登校児童生徒にとっては必要な事業であり、今後も継続して実施する必要があります。

家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実については、それぞれの地域が実施する活動を通して、学校と地域の人々が交流できるような事業を支援するとともに、青少年の健全育成のため、教育センターや警察署・補導委員など関係機関と連携・協力しながら、子どもの安心・安全を守り、青少年のいじめや非行防止に努めていきます。また、家庭教育支援の充実を図るため、他の課・係と連携した事業を実施するなど、継続した取り組みを推進することにより、家庭の教育力向上に努めていきます。

男女共同参画教育の推進については、家庭や地域などでの、日常生活における固定的性別役割分担意識の解消に繋がるような取り組みを行うとともに、男女共同参画推進課と連携･協力し、男女共同参画についての説明や情報提供などに努めます。

■重要課題４　生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

社会教育関係機関、団体との連携・協力体制の整備については、社会教育関係団体が自主運営・自主活動できるように支援するとともに、継続して活動や事業が行われるよう連携・協力していく必要があります。

学習機会の提供及び学習成果の活用促進については、青少年の生活体験や自然体験などを通して、社会性・自主性等を身につけた地域リーダーとなる人材の育成に努めます。また、ボランティア人材バンクを活用した学校と地域の連携強化と、地域活動の活性化を図ります。

公民館事業については、平成２９年度において策定する嘉麻市公民館基本方針及び基本計画に基づき、今後、公民館で実施する事業及び役割を明確にし、各地域の公民館事業を活性化していく必要があります。また、施設の老朽化に対応するため、施設全体の管理について検討していきます。

図書館運営事業については、図書館利用のきっかけとなる事業を開催することや移動図書館車の更なる活用を図ることで、読書習慣の基礎となる子どもの読書活動を支援していく必要があります。また、地域との協働による図書館事業を充実するため、ボランティアの育成を行い、継続的なボランティア活動の支援に努めます。

■重要課題５　体力及び運動能力向上の推進

コオーディネーショントレーニングをすべての市民に普及することにより、人材育成、地域の活性化、さらには定住人口の増加を目指す「プロジェクトＫ事業」では、公立保育所全５カ所と私立保育園・幼稚園１２園中９園、小学校全８校がトレーニングを導入し、高齢者等に対する運動教室や障がい児に対するこどもクリニックを含め着実に広がりを見せています。今後も、保育士や教員が日常の指導現場でコオーディネーショントレーニングを実施できるよう指導者の育成を進めながら、乳幼児や小学生への拡充を図るとともに、中学校や高等学校、高齢者や障がい者に対するトレーニングの普及に向けた啓発にも取組みます。

また、スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致し、交流人口の増加と地域の活性化を目指す「スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援事業」では、交流人口が目標の 7,000 人を大きく超え 16,771 人となりました。今後も、施設の維持改善を図りながら有効活用を促進し、交流人口の増加を目指します。

■重要課題６　人権尊重精神を育成する教育の推進

人権・同和教育の推進を図るため、行政区、各種団体等や事業主を対象に研修会を実施しました。行政区等での実施回数は横ばい状態ですが、事業主研修会の参加者は、平成２７年度の１００名から１２３名に増加しました。

引き続き、市民が人権・同和問題について学ぶ場と学ぶ機会の充実を図り、偏見や差別のないお互いを認め合う社会の実現へ向け、取組みを推進します。

■重要課題７　市民文化の創造

美術に関する創造的活動の推進にあたっては、アトリエや展示室５で学習や展覧会を行う文化芸術サークルや団体の活動を支援し、また、市内中学校での出前授業、小学校の美術鑑賞等を行いました。開館２０周年記念事業として開催した「石川えりこ原画展」では、嘉麻市出身の絵本作家である石川さんの紹介と顕彰を行い、市民への芸術・文化の啓発に努めました。また、「建築家徳岡昌克展」では、設計者である徳岡氏の業績を紹介し、改めて織田廣喜美術館の魅力の発信に努めました。

芸術創作活動の機会として、子どもや大人を対象とした講座を開催し、専門家の指導を受けながら楽しく芸術体験をしました。アートキッズでは美術館ボランティアのサポートにより子どもたちは充実した時間を過ごすことが出来ました。今後も、人々が快適な環境の中で安心して美術館を活用できるよう継続して維持管理を行い、人々の文化芸術活動と学びを支援し、優れた芸術作品鑑賞の機会を設け、心豊かな感性を育み、市民の美術に関する創造的活動の促進を図ります。

文化財の保護・継承・活用にあたって、「文化財保護事業」では、継続して指定文化財の維持管理等に努めましたが、未指定文化財に対する保護対策が今後の課題

です。「歴史民俗教育普及事業」では、歴史講演会や平和教育事業を実施し、予想を超える参加がありました。「歴史民俗資料展示・保管施設の管理活用事業」では、既存施設の維持管理に努めるとともに、効率良く収蔵資料の活用が図れるよう資料台帳の整備を継続して行いましたが、各施設の活用状況に格差が生じているため、各施設における機能の明確化と見直しが今後の課題です。

⑶　おわりに

今回点検した第３次嘉麻市教育アクションプランにおける実施事業は、それぞれの数値目標を達成するため、計画的かつ効果的に着実に推進している状況です。

また、点検評価委員の皆様からは、自己評価に対する指摘、改善策等の意見をいただきました。これらの貴重な意見を各事業に反映させ、今後の嘉麻市教育行政の発展に役立てていきたいと思います。

最後に、点検評価に参加・ご尽力くださいました委員の皆様に心よりお礼を申し上げ、点検・評価報告書のまとめとさせていただきます。

《　資　　料　》

嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱

［平成２１年嘉麻市教育委員会要綱第６号］
［平成２３年嘉麻市教育委員会要綱第４号］
［平成２４年嘉麻市教育委員会要綱第４号］
［平成２６年嘉麻市教育委員会要綱第４号］
［平成２６年嘉麻市教育委員会要綱第６号］
［平成２７年嘉麻市教育委員会要綱第５号］

（趣旨）

第１条　この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和３１年法律第１６２号）第２６条及び嘉麻市教育基本条例（平成２２年嘉麻市条例第１６号。以下「条例」という。）第７条の規定に基づき、嘉麻市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する事務の点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

（点検評価事項）

第２条　教育委員会は、前年度の教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、次に掲げる事項の点検及び評価（以下「点検評価」という。）を行う。

（１）　教育委員会の会議の実施状況等に関すること。

（２）　教育委員会の主要な施策に関する執行の状況及びその成果に関すること。

（点検評価の方法）

第３条　教育委員会は、点検評価を実施するに当たり、別に定める評価表により教育委員会事務局において、その所管する事務事業等の自己評価を行わせるものとする。

２　教育委員会は、前項の自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員（以下「評価委員」という。）を設置する。

３　教育委員会は、評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な点検評価を行う。

（評価委員）

第４条　評価委員は、１０人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

（１）　嘉麻市議会議員

（２）　嘉麻市ＰＴＡ連合会委員

（３）　嘉麻市社会教育委員

（４）　嘉麻市公民館運営審議会委員

（５）　嘉麻市立図書館協議会委員

（６）　嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会委員

（７）　嘉麻市スポーツ推進委員

（８）　嘉麻市文化財保護審議会委員

（９）　その他教育委員会が適当と認める者

（公表の方法）

第５条　教育委員会は、条例第７条の規定により点検評価の結果に関する報告書は次に掲げる方法で公表する。

（１）　嘉麻市公式ホームページに掲載

（２）　報道機関に提供

（３）　教育委員会での閲覧

（庶務）

第６条　点検評価の実施に関する庶務は、学校教育課において処理する。

（その他）

第７条　この要綱に定めるもののほか、点検評価の実施に関し必要な事項は、教育長が定める。

附　則

この要綱は、平成２１年７月８日から施行する。

附　則

この要綱は、平成２３年４月５日から施行する。

附　則

この要綱は、平成２４年４月１日から適用する。

附　則

この要綱は、平成２６年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、平成２６年１０月１６日から施行する。

附　則

この要綱は、平成２７年４月１日から適用する。

平成２９年度嘉麻市教育委員会点検評価委員名簿

（評価対象年度・・・・平成２８年度）

（敬称略）

	団　体　名	氏　　名
1	嘉麻市議会	岩永　利勝
2	嘉麻市ＰＴＡ連合会	青柳　剛太郎
3	嘉麻市社会教育委員の会議	木村　美香
4	嘉麻市公民館運営審議会	川原田　寿史
5	嘉麻市立図書館協議会	田中　早苗
6	嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会	梅野　巖夫
7	嘉麻市スポーツ推進委員	山方　国和
8	嘉麻市文化財保護審議会	鹿田　則光
9	嘉麻市教育センター （その他教育委員会が適当と認める者）	大屋　信一

嘉麻市教育委員会点検・評価報告書

（平成２８年度事業分）

発　　行　　嘉麻市教育委員会　学校教育課
〒820-0392　福岡県嘉麻市大隈町７３３番地
ＴＥＬ　0948-57-3198

発行年月　　平成２９年８月